

MR600eシリーズ

取扱説明書

このたびは、当社バーコードプリンタMR600eシリーズをお買い求めいただきまして、ありがとうございました。

本書は、はじめてMR600eシリーズをお使いになる方が、短期間で基本的な操作を習得していただくことを目的としています。

本書をよくお読みいただき、MR600eシリーズの機能をフルに使いこなしてください。

安全上のご注意	1
設置及び取り扱い上の注意	1
箱から出しましょう	2
各部の名称	4
用紙のセット	8
オプションタイプのセット	18
電源を入れてみましょう	23
動かしてみましょう	26
あれ？どうしたのかな？	49
オプションについて	57
毎日のお手入れ	59
基本仕様	60
アフターフォローについて	62

サトー純正品サプライ(ラベル・タグ・リボン)を必ずご使用ください。

安全上のご注意

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。プリンタをご使用になる前に必ずよくお読みください。

▲絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への被害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。図の中に具体的な内容指示(左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

警告

■不安定な場所に置かない



・ぐらついた台の上や傾いた所、振動のある場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因になります。

■水などの入った容器を置かない



・プリンタの周辺に花ビン、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。万一、こぼしたり、中に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■内部に異物を入れない



・プリンタの開口部(ケーブルの出口やメモリカード取付口など)から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■指定以外の電圧は使用しない



・指定された電源電圧(AC100V)以外は、使用しないでください。火災・感電の原因となります。

警告

■必ずアース線を接続して



- 必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。



■電源コードの取り扱いについて



- 電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。又、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■落としたり、破損したときは



- プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



■異常な状態で使用しない



- 万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。



■分解しないでください



- プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご依頼ください。



■カッタについて



- カッタに手やものを入れないでください。ケガをする恐れがあります。

■ヘッド清掃液の取り扱いについて



- ヘッド清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対に行わないでください。
- お子様が間違えて飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医者と相談してください。



注意

■湿度が高い場所に置かない



- プリンタを湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は、速やかに電源スイッチを切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電の原因となります。

■持ち運び



- 移動されるときは、必ず電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜き、外部との接続線を外したことを確認の上、行ってください。外さないまま移動すると、コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。
- 用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをする恐れがあります。
- プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタの足に指や手を挟まないように注意してください。



⚠ 注意

■電源



- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

■電源コード



- 電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。
- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、プラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合芯線の露出や断線し、火災・感電の原因になることがあります。
- 本プリンタに付属の電源コードは本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

■カバー



- カバーの開閉には、指を挟まないように注意して行ってください。又、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持って行ってください。

■サーマルヘッド



- 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。印字直後の用紙の交換、清掃は、火傷をしないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをする恐れがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意して行ってください。
- お客様によるサーマルヘッドの交換は、行わないでください。ケガ、火傷及び感電の恐れがあります。

■サーマルヘッドの開閉



- サーマルヘッドの開閉には、用紙以外の異物を挟まないように注意して行ってください。ケガ、破損の原因になることがあります。

■用紙のセット



- ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意して行ってください。
- ファンフォールド紙通し口カバーを外すとき、ケガをしないように注意して行ってください。

■簡易カッタ



- 刃物の構造をしています。手を切らぬように注意してください。

■長期間ご使用にならないとき



- プリンタを長期間ご使用にならないときは、安全のため電源コードの抜き差しプラグをコンセントから抜いてください。

■お手入れ・清掃のとき



- プリンタのお手入れや清掃を行うときは、安全のため電源コードの抜き差しプラグをコンセントから抜いてから行ってください。

ご 注 意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店・ディーラーへご連絡ください。
- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

設置及び取り扱い上の注意

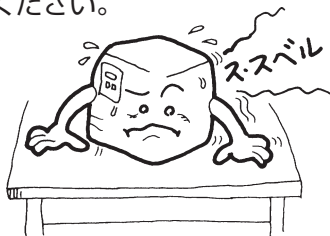
つぎのことに注意して、設置、取り扱いをおこなってください。

▲設置場所について

つぎのことに注意して、本機を設置してください。

水平な場所に置いてください。

設置する場所が、でこぼこや斜めの場合、きれいな印字ができません。また、故障の原因になり、プリンタの寿命を短くする恐れがあります。



振動のある場所には置かないでください。

振動のある場所には設置しないでください。

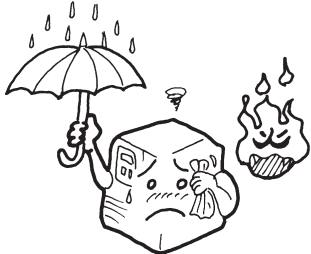
また、ロール紙をセットしたままプリンタを運んだり、大きな振動を与えないでください。



高温・多湿の場所には置かないでください。

温度・湿度が高くなる場所に設置しないでください。

温度・湿度が高くなりますと故障の原因になります。



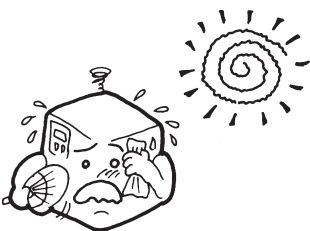
ほこりを避けて使用してください。

ほこりがつくときれいに印字できなくなることがあります。また、故障の原因になるだけでなく、製品の寿命を短くする恐れがあります。



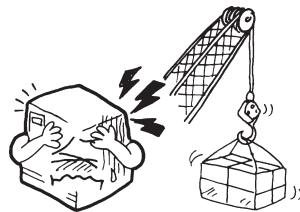
直射日光は嫌いです。

本機は光学センサを内蔵していますので、直射日光が当たるとセンサが誤作動を起こすことがあります。印字するときは必ずカバーを閉じてください。



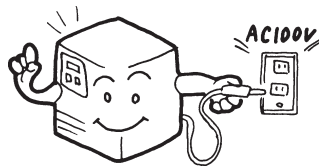
クレーンやプレス機などのそばには置かないでください。

クレーンやプレス機など大容量の電気を使う機器は、電気ノイズや電源の電圧低下を起こす原因になります。本機の誤動作や故障のもとになりますので、これらの機器のそばに本機を置かないでください。



▲電源について

本機は、AC100Vの交流電源が必要です。



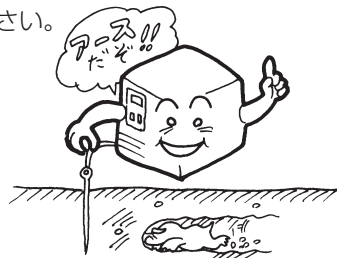
電圧の低下などの変動が少ない電源から電気を供給してください。

ヒーターや冷蔵庫などの消費電力の大きい電気製品と同じ電源や、その近くの電源から電気を供給しないでください。電源の電圧の低下などにより誤動作を起こすことがあります。



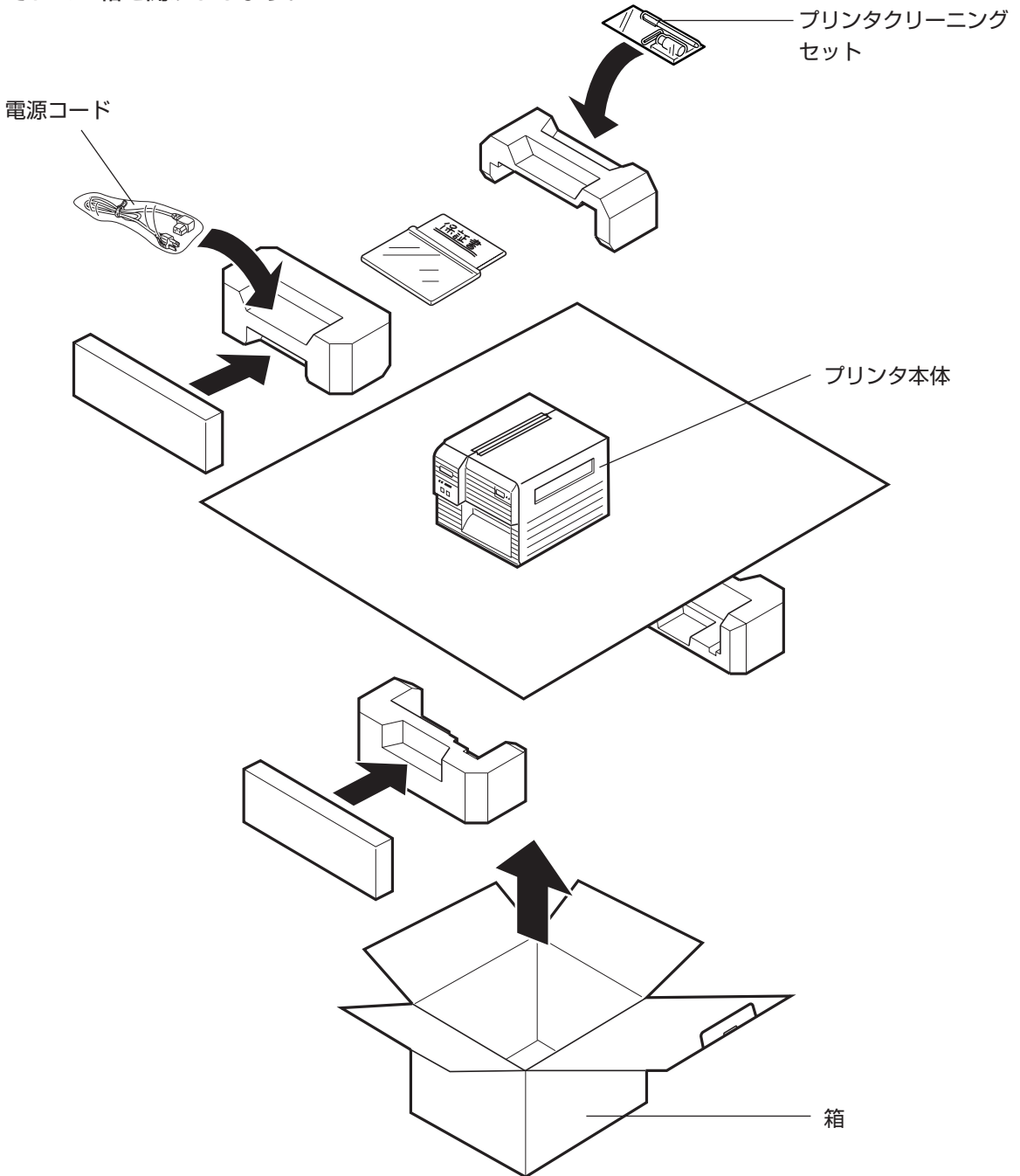
必ずアース線を接続してください。

アース設備がない場合は、アース設備工事をおこなってください。



箱から出しましょう

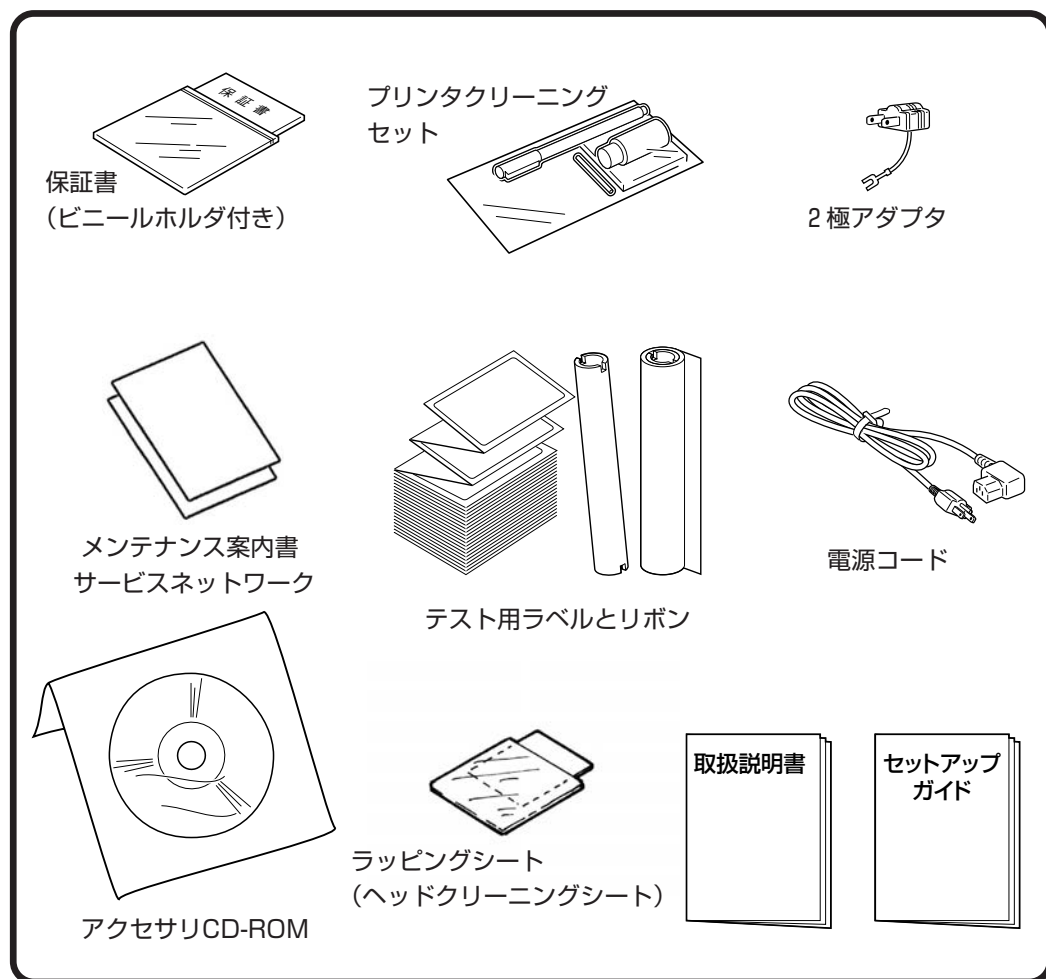
本機を箱から出して設置します。
それでは箱を開けましょう。



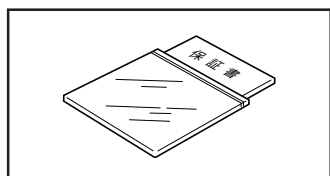
※ロットによって、緩衝材(プリンタ押えのプロテクタパッド等)の形状が一部異なる場合があります。

添付品の確認

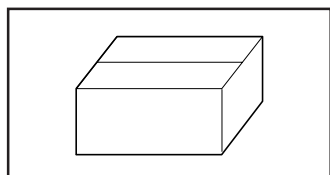
箱を開けたら、つぎの添付品が揃っているか確認してください。
もし、足りないものがありましたら、購入されました販売店・ディーラーまでお問い合わせください。



▲ 保証書と箱は大切に

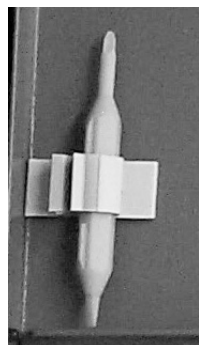


本機は、正常なご使用のもとにおける故障については、納入日より6カ月間を保証期間として無償修理いたします。修理をご依頼いただくとき、添付の保証書によるユーザー登録が必要です。保証書は大切に保管してください。万一、保証書を紛失されたときは、修理が有償となりますのでご了承ください。



また、本機を梱包していた箱とプリンタ押え(緩衝材)も保管してください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本機を梱包して送っていただけます。

各部の名称



ボリューム調整用ドライバ

カバー

リボン巻き取り部

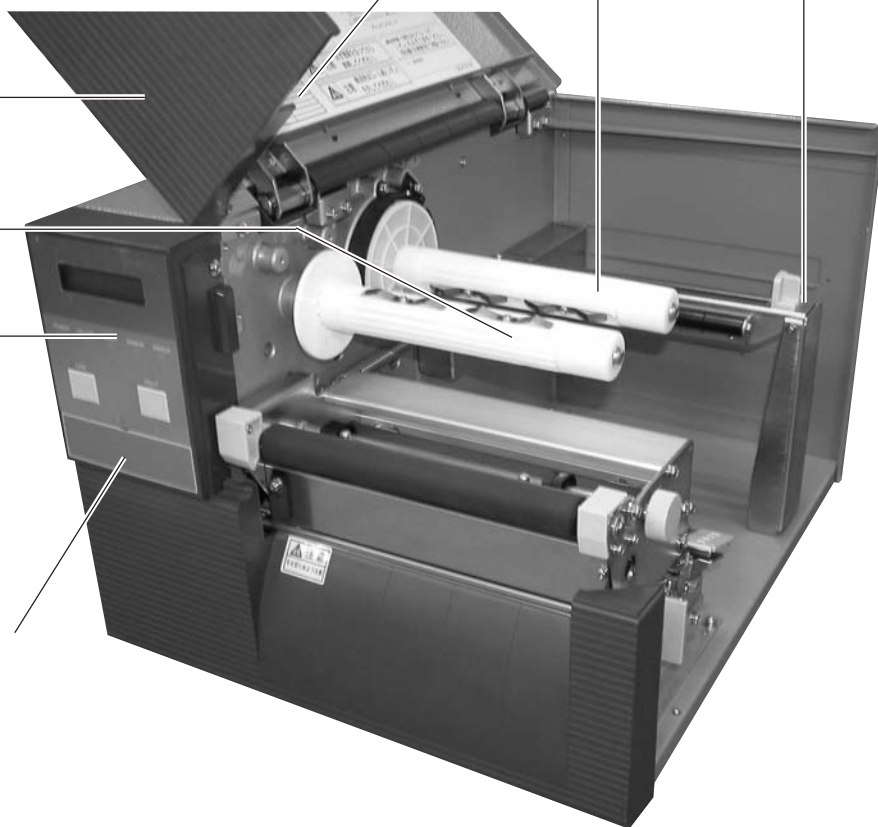
操作パネル部

メッセージを表示するLCDと操作を行う2つのキー、プリンタの状態を示す5つのLEDがあります。

ディップスイッチカバー

リボン供給部

ロール紙供給部

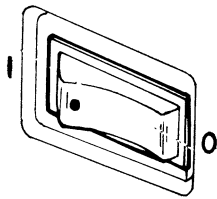


インターフェイスボード
オプションのインターフェイス
ボードによりインターフェイス
を変更することができます。

EXTコネクタ
外部信号インターフェイス

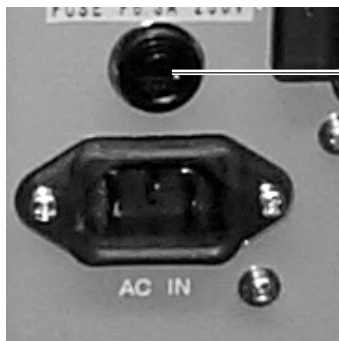
カードスロット

電源スイッチ
本機の電源を入れるとき、
切るときに使用します。
| 側に押すと電源が入り
ます。
○側に押すと電源が切れ
ます。

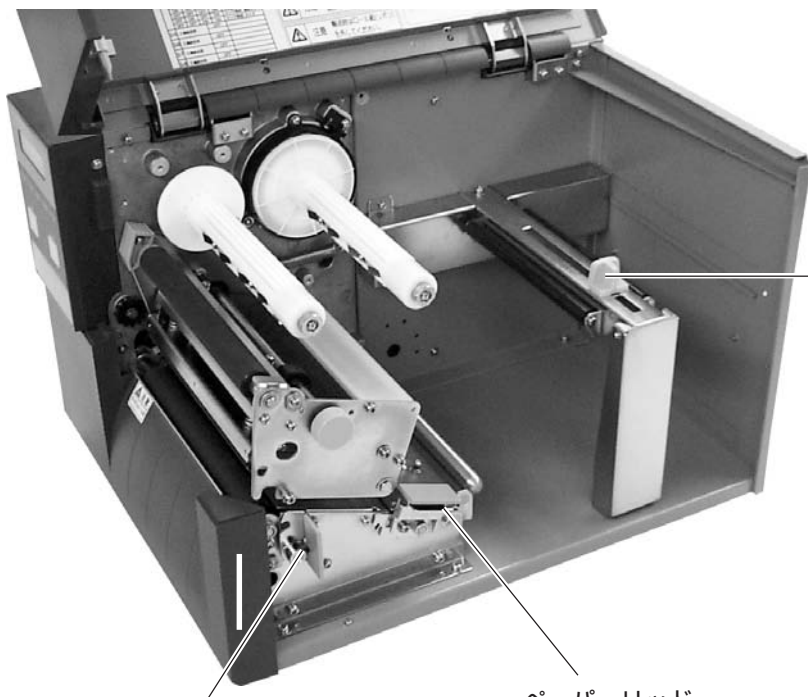


ヒューズカバー
ヒューズが中に
入っています。

AC入力電源端子(電源コネクタ)
電源コードを差し込み、本機に電源を供給
します。



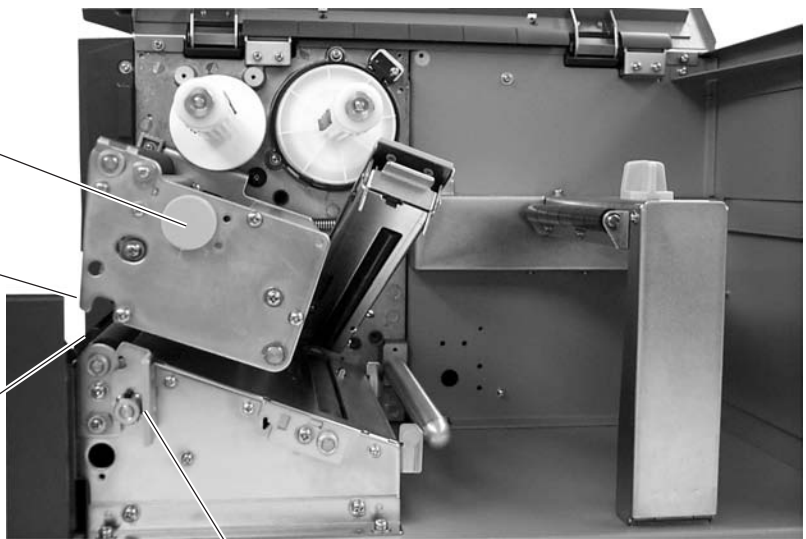
ヒューズ
本機に、一定以上
の電流が流れると
ヒューズが切れて
本機を故障から守
ります。



ラベルストッパ
ロール紙を固定します。

ペーパーリッド

ヘッドオープンレバー



ヘッド圧調整

サーマルヘッド(消耗部品)
用紙に印字する部分です。
定期的にお手入れして
ください。

プラテンローラ(消耗部品)
印字した用紙を送り出します。
定期的にお手入れして
ください。

ヘッドオープンレバー

▲操作パネル

操作メッセージやエラーメッセージが表示されます。
メッセージは半角サイズの英数字で表示されます。

ディスプレイ

エラーメッセージ、操作メッセージを表示します。



[LINE] ラインキー

印字のスタート・ストップ及びデータ送受信のオン・オフを切り替えます。

[FEED] フィードキー

用紙の紙送りをします。1回押すと1枚分の用紙を送り出します。

※ 電源をON、用紙をセットしたときなど用紙が正規位置にない場合があります。
このような場合には、[LINE]キーを押してオフライン状態にし、[FEED]キーを必ず押し用紙を正規位置に合わせてください。

調整用ボリューム

サービス調整用のボリュームです。

特に指示のない限り変更しないでください。

PRINT : 印字濃度調整用

OFFSET : カッタ、ハクリ、ティアオフ停止位置調整用

PITCH : 印字位置調整用

DISPLAY : ディスプレイ表示濃度調整用

LED

プリンタの状態を表示します。

POWER

電源ONの時、点灯します。

LABEL

用紙のエラーの時、点灯、点滅します。

RIBBON

リボンのエラーの時、点灯、点滅します。

ERROR

エラーが発生した時、点灯、点滅します。

ONLINE

通信可能の時、点灯します。
通信エラーの時、点滅します。

ディップスイッチ

プリンタの動作及び印字条件を設定します。

※ ディップスイッチ(DSW2、3)の設定は、「動かしてみましよう」を参照してください。
→26ページ

DSW1は未使用

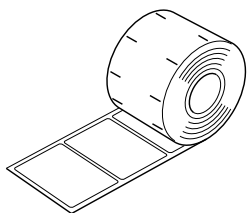
用紙のセット

本機はロール紙・ファンフォールド紙の用紙に印字することができます。
 ロール紙とファンフォールド紙では、用紙のセットのしかたがちがいます。
 本機は、アイマークをセンサで検知することにより、適切な印字を行います。

本機用の紙は、当社純正品をお使いください。

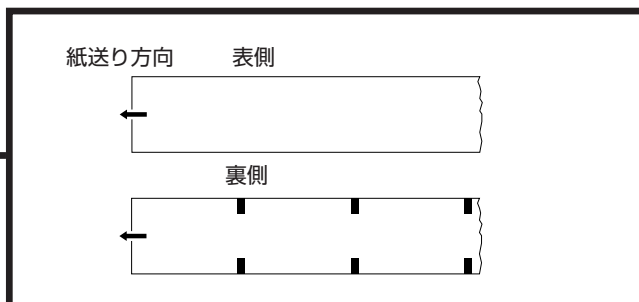
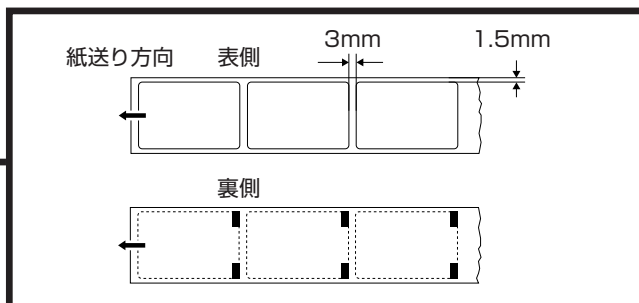
規格以外の用紙は使用しないでください。

ロール紙

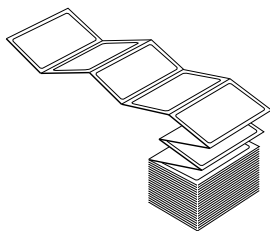


カスタリ紙

厚紙

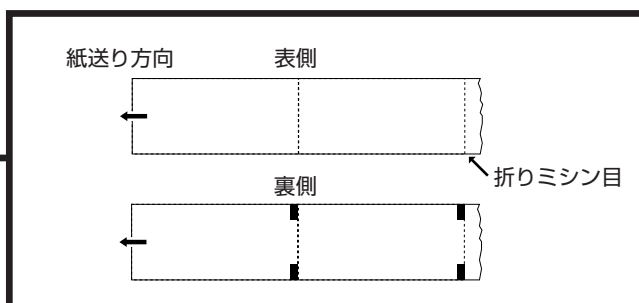
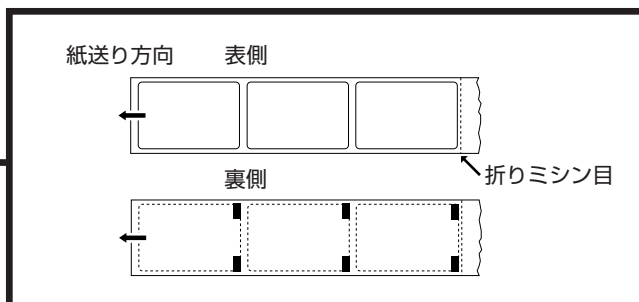


ファンフォールド紙



カスタリ紙

厚紙



ロール紙のセット

1 カバーを開けます。

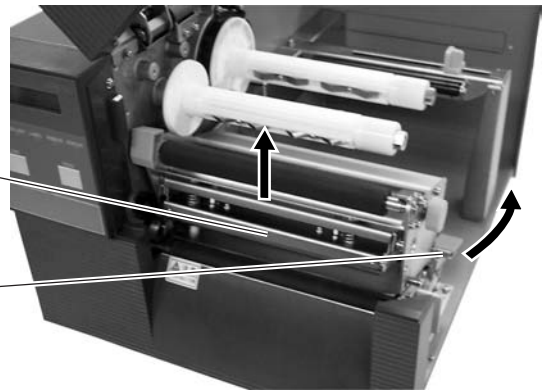
カバー



2 ヘッドオープンレバーを矢印の方向に回します。
サーマルヘッドが開きます。

サーマルヘッド

ヘッドオープンレバー



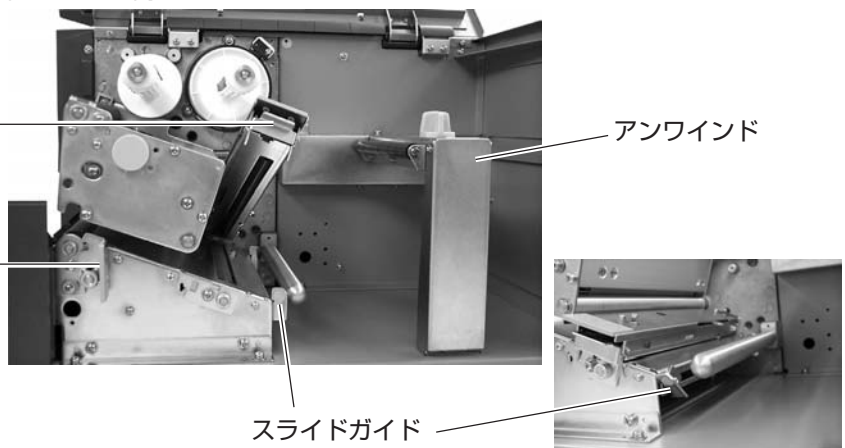
3 ペーパーリッド部のレバーを引き上げます。
ペーパーリッドが自然に持ち上がります。
スライドガイドを手前に引き、斜めに倒しておきます。

ペーパーリッド

ヘッドオープンレバー

アンワインド

スライドガイド



- 4 アンwindを倒します。
ロール紙供給部に用紙をセットします。
アンwindをセットします。ラベルストップをスライドして用紙が動かないように調整します。

ロール紙

ロール紙供給部



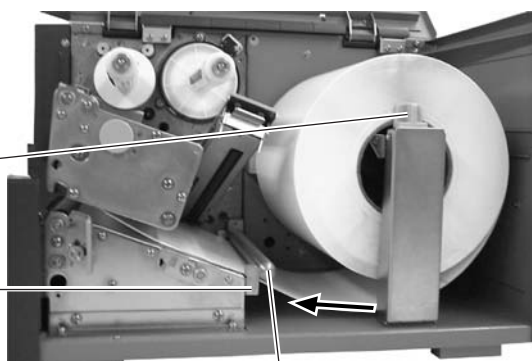
ラベルストップ

アンwind

- 5 用紙の先端をヘッド部の下に通します。
ラベルガイドを通し、ガイドローラーに用紙の端が接するようにセットします。

ラベルストップ

ラベルガイド



ガイドシャフト

⚠ 注意

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。
印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをする恐れがあります。
用紙交換には、ケガをしないように注意して行ってください。

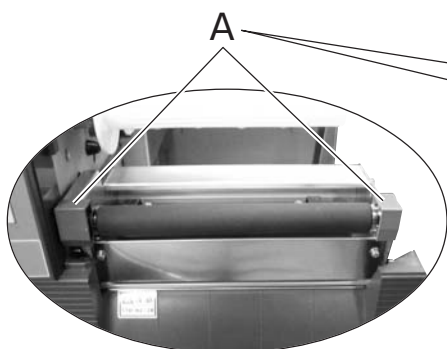
- 6 スライドガイドを立て直し、用紙の手前端が、軽く触れるようにスライドを調整します。

ガイドシャフト

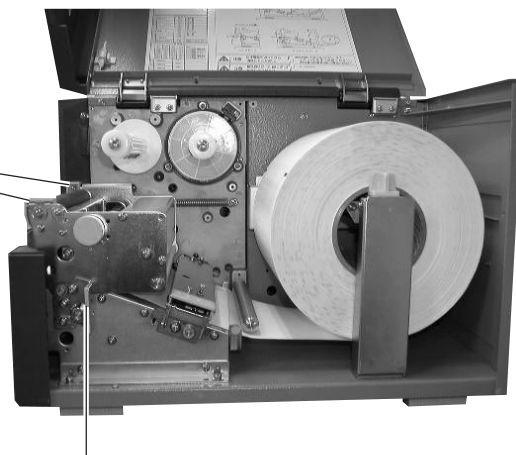
スライドガイド



- 7 緑色の「A」部を押し下げて、サーマルヘッドをロックします。ヘッドオープンレバーが固定されたことを確認してください。



拡大図



ヘッドオープンレバー

- 8 カバーを閉めます。

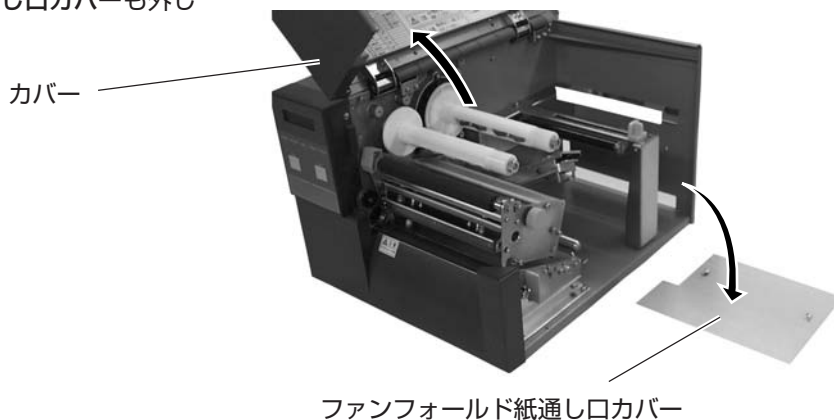
⚠ 注意

カバーを閉めるときは、カバーに指をはさまないように注意して行ってください。

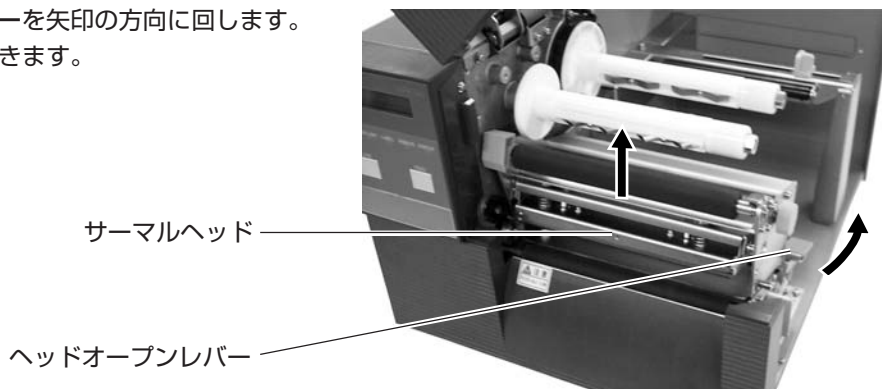


ファンフォールド紙のセット

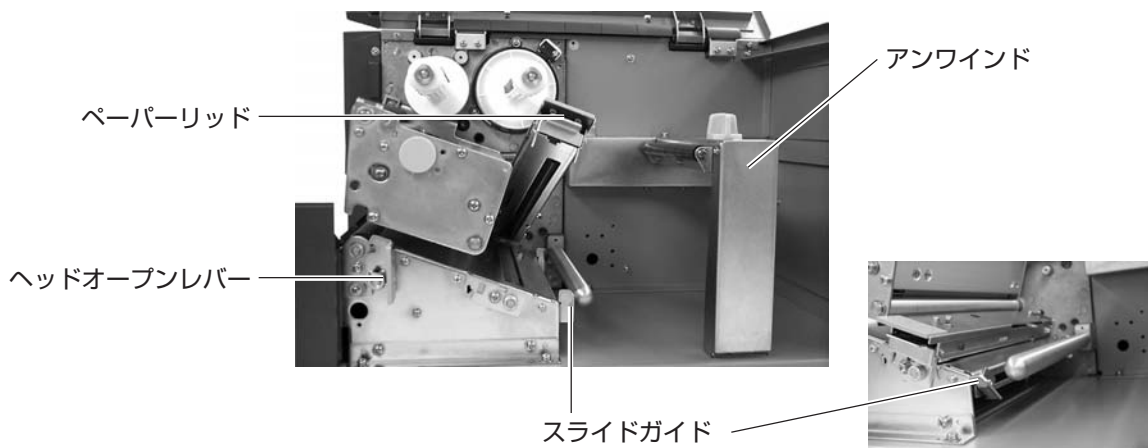
- 1 カバーを開けます。
ファンフォールド紙通し口カバーも外します。



- 2 ヘッドオープンレバーを矢印の方向に回します。
サーマルヘッドが開きます。



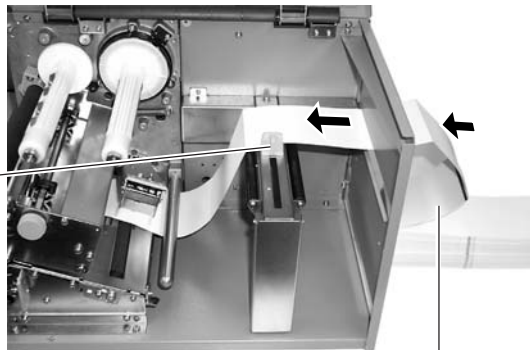
- 3 ペーパーリッド部のレバーを引き上げます。
ペーパーリッドが自然に持ち上がります。
スライドガイドを手前に引き、斜めに倒しておきます。



4 ファンフォールド紙通し口よりロール紙供給部に用紙を通します。

ラベルストッパをスライドして、用紙の端にラベルストッパが軽く触れるように調整します。

ラベルストッパ



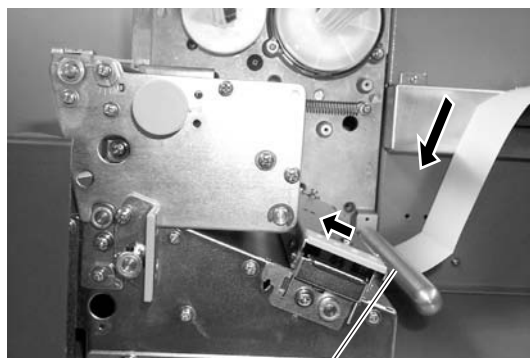
ファンフォールド紙

5 スライドガイドを用紙の端に軽く触れるようにします。

調整後は、リッド部を押し下げてください。
カッチと音がして固定されたことを確認してください。

⚠ 注意

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。
印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをする恐れがあります。
用紙交換には、ケガをしないように注意して行ってください。



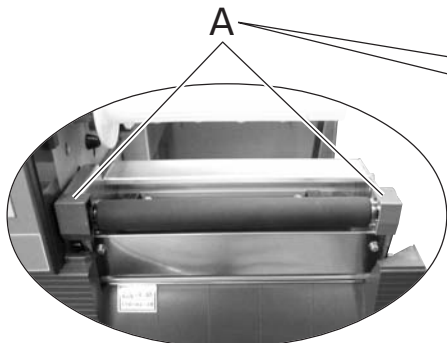
ガイドシャフト

6 スライドガイドを立て直し、用紙の手前端が、軽く触れるようにスライドを調整します。

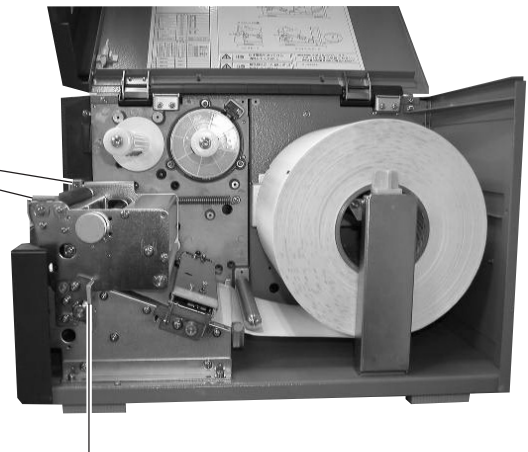
スライドガイド



- 7 緑色の「A」部を押し下げて、サーマルヘッドをロックします。ヘッドオープンレバーが固定されたことを確認してください。



拡大図



ヘッドオープンレバー

- 8 カバーを閉めます。

⚠ 注意

カバーを閉めるときは、カバーに指をはさまないように注意して行ってください。



カーボンリボンのセット

本機のカーボンリボンは、当社純正品を必ずお使いください。
規格以外のカーボンリボンは使用しないでください。

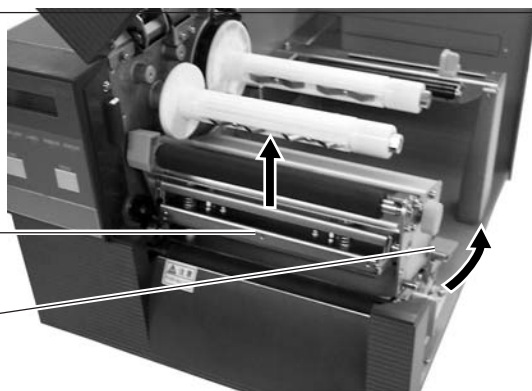
- 1 カバーを開けます。

カバー



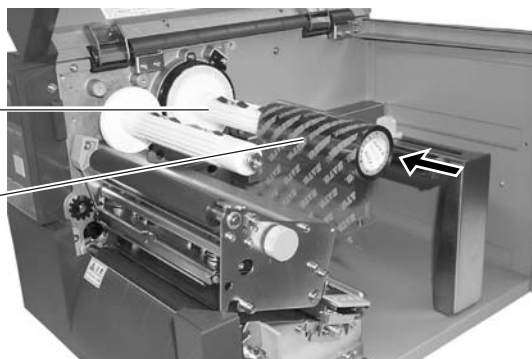
- 2 ヘッドオープンレバーを矢印の方向に回します。
サーマルヘッドが開きます。

サーマルヘッド
ヘッドオープンレバー



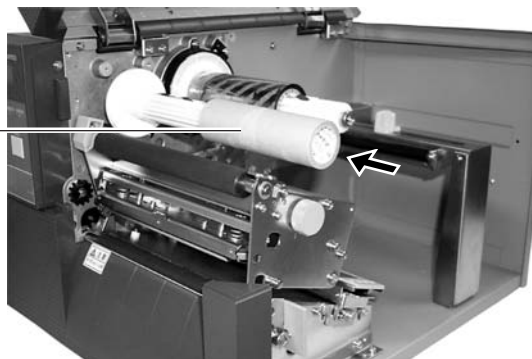
- 3 リボン供給部にカーボンリボンを入れます。
カーボンリボンを奥まで入れてください。
(巻き方向に注意してください。)

リボン供給部
カーボンリボン



- 4 リボン巻き取り部にリボンコアをセットします。

リボンコア



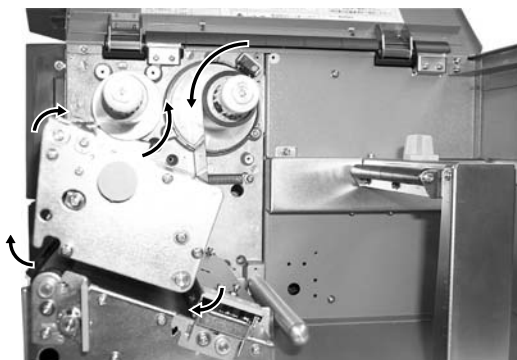
- 5 カーボンリボンをリボン供給部よりサーマルヘッドの下を通して、リボン巻き取り部へ通します。リボンコアにカーボンリボンをテープなどで貼り付けて、数回矢印の方向へ巻き取ります。横から見て右図のようにカーボンリボンがセットされていることを確認してください。

リボン巻き取り部
テープ

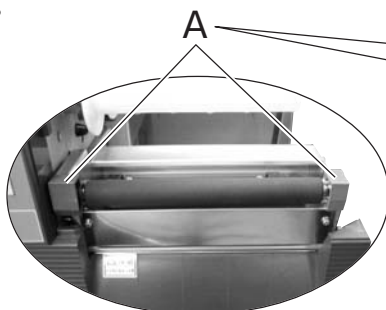


⚠ 注意

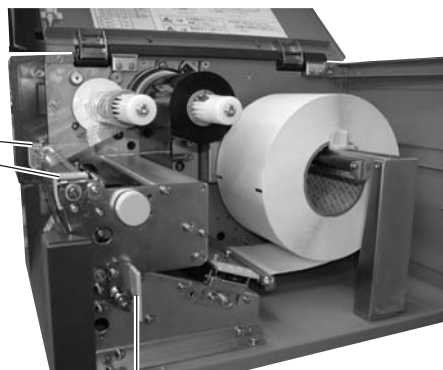
- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをする恐れがあります。用紙交換には、ケガをしないように注意して行ってください。



- 6 緑色の「A」部を押し下げて、サーマルヘッドをロックします。ヘッドロックレバーが固定されたことを確認してください。



拡大図

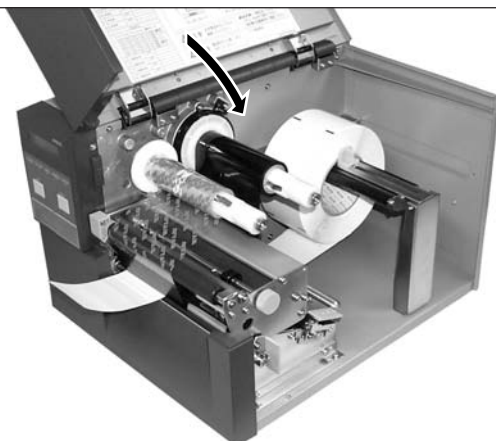


ヘッドオープンレバー

- 7 カバーを閉めます。

⚠ 注意

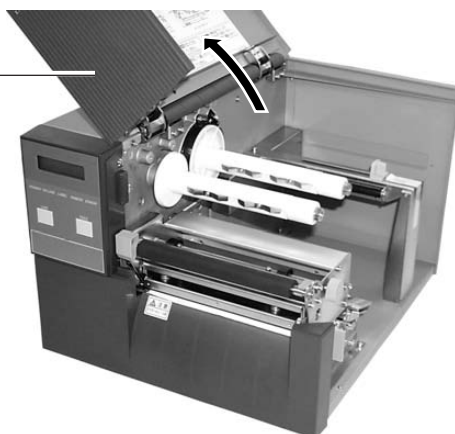
- カバーを閉めるときは、カバーに指をはさまないように注意して行ってください。



ヘッド圧の調整

1 カバーを開けます。

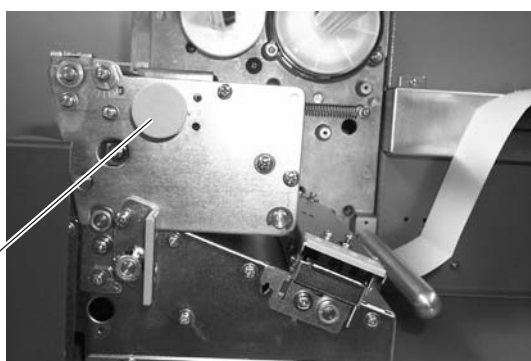
カバー



2 ヘッド部のサイドにありますヘッド圧調整ノブにてヘッド圧を調整します。ヘッド圧は、用紙の幅(台紙の幅)により調整します。

調整は下記の値を目安に実際に印字を行って調整してください。(印字フォーマット、用紙、カーボンリボンの種類により異なります)

ヘッド圧調整ノブ



ヘッド圧調整ノブ

1 : 50mm~80mm

2 : 70mm~110mm

3 : 90mm~180mm

3 カバーを閉めます。

⚠ 注意

カバーを閉めるときは、カバーに指をはさまないように注意して行ってください。



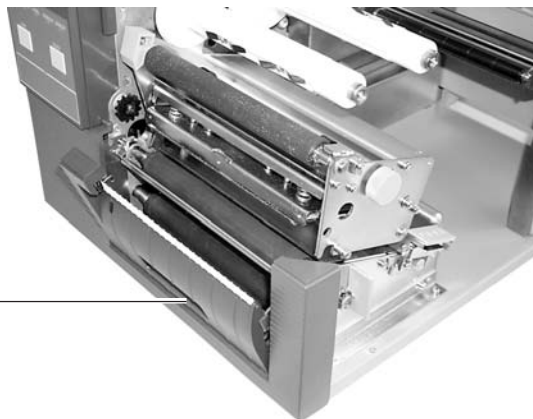
オプションタイプのセット

ハクリタイプ(工場オプション)

▲用紙のセット

1 カバーを開きます。
ロール紙のセットの1項を行います。

2 ハクリユニットを開きます。

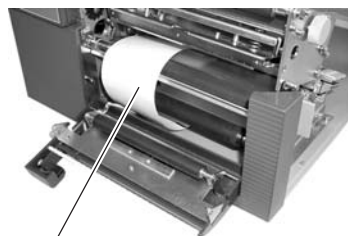


ハクリユニット

3 用紙をセットします。
ロール紙のセットの2~6項を行います。

4 約50cm分のラベルをはがします。

5 下図のように台紙を台紙巻き取り部に巻きつけます。



台紙

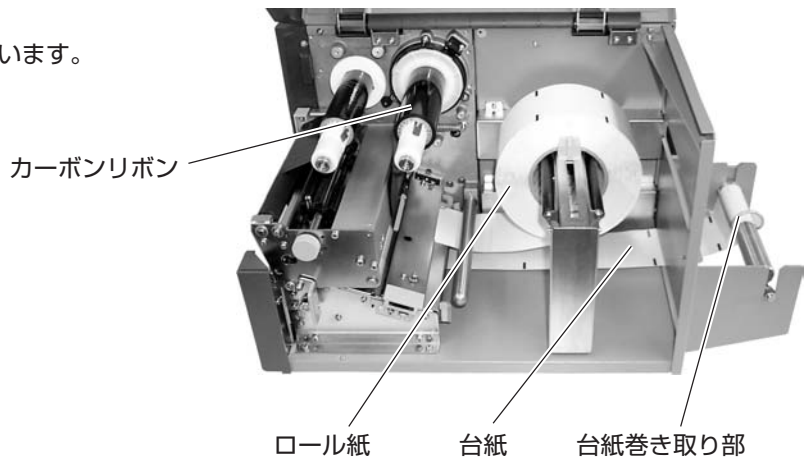


台紙巻き取り部

6 サーマルヘッドを閉じます。
ロール紙のセットの7項を行います。

7 ハクリユニットを閉じます。

8 カバーを閉めます。
ロール紙のセットの8項を行います。



▲ハクリ停止位置の調整

ハクリ時のラベル停止位置は、ラベルを2~3mm台紙に残す位置が正規の停止位置となります。ラベルの停止位置が正規の位置にない場合、カバーに添付してある、ボリューム調整用ドライバのプラス側を使用して「OFFSET」ボリュームの調整を行います。

左回し：印字方向に対し後ろにラベル停止する



★注意事項

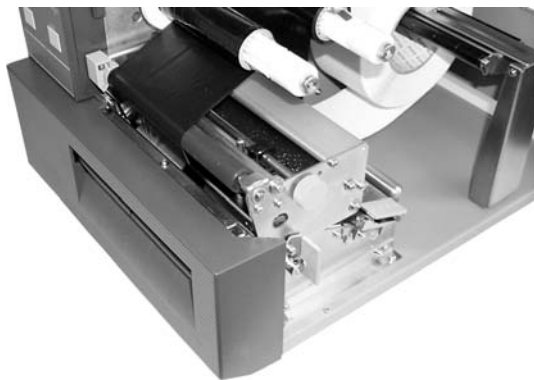
1. 用紙の種類により使用できない場合があります。
2. ハクリ時の印字精度は、V(縦)方向±1.5mm、H(横)方向±1.0mmです。
3. ハクリユニットは、ラベルピッチ30~178mmまで有効です。
但し、使用条件によってラベルサイズを規制する場合があります。
4. ボリューム調整後、2~5枚程度ラベルを発行することでハクリ時のラベル停止位置が安定します。

カッタタイプ(工場オプション)

▲用紙のセット位置

- 1 カバーをオープンします。
ロール紙、ファンフォールド紙のセットの1項を行います。

- 2 用紙をセットします。
 ロール紙、ファンフォールド紙のセットの2～6項を行います。



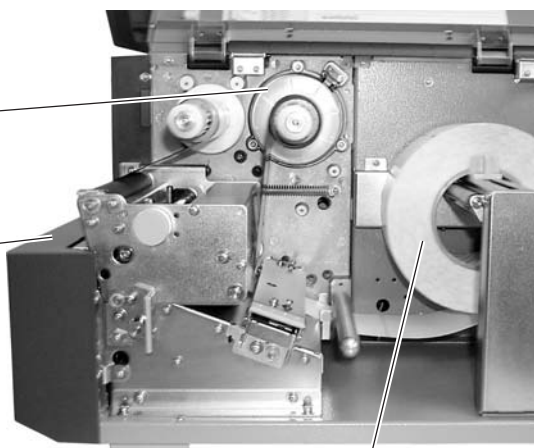
- 3 プラテンローラの上に用紙の先端をセットします。

- 4 サーマルヘッドを閉じます。
 ロール紙、ファンフォールド紙のセットの7項を行います。

- 5 カバーを閉めます。
 ロール紙、ファンフォールド紙のセットの8項を行います。

カーボンリボン

カタユニット



ロール紙

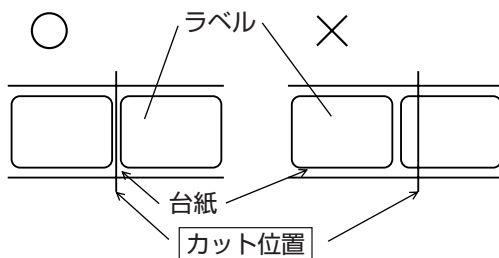
⚠ 注意

- カッタに手やものを入れないでください。ケガをする恐れがあります。
- 刃物の構造をしています。手を切らぬように注意してください。

カット位置の調整

▲ラベルのカット

ラベル使用時のカット位置は、ラベルとラベルの間、カストリ(台紙のみの部分)が正規のカット位置となります。



▲カット位置の調整

カット位置が正規の位置にない場合、カバーに添付してある、ボリューム調整用ドライバのプラス側を使用して「OFFSET」ボリュームの調整を行います。

ラベルのカットは、のりがカッタ刃に付いて切れを悪くしますので、絶対に避けてください。



ボリューム調整用ドライバ

左回し：印字方向に対し後ろにラベル停止する



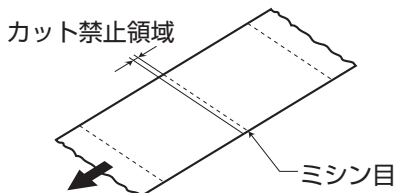
右回し：印字方向に対し前にラベル停止する

▲ミシン目のある用紙のカット

ミシン目のある用紙では、ミシン目およびミシン目の手前はカット禁止領域です。

動作不良の原因になります。

ミシン目およびミシン目の手前をカットしている場合、ミシン目の後ろでカットするようにボリューム調整用ドライバのプラス側を使用して「OFFSET」ボリュームの調整を行います。



以下の項目は本機で使用できる用紙の仕様となりますので、使用する前にご確認ください。

①用紙厚さ(台紙含)は0.1mm～0.18mmです。

詳しくは、販売店・ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。

②カット精度は±1.5mmです。

③カッタユニットは、カットピッチが35～400mmまで有効です。

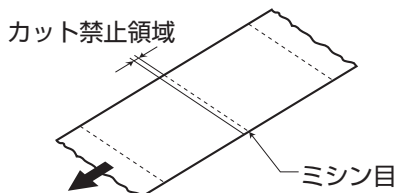
但し、使用条件によってはカットサイズを規制する場合があります。

④ミシン目の+1mmは、カット禁止領域(図1)です。

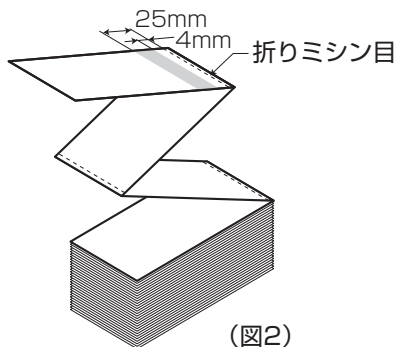
⑤ファンフォールド紙の折りミシン目から+4mm～+25mmはカット禁止領域(図2)です。

⑥ボリューム調整後、2～5枚程度ラベルを発行する

ことで、カット位置が安定します。



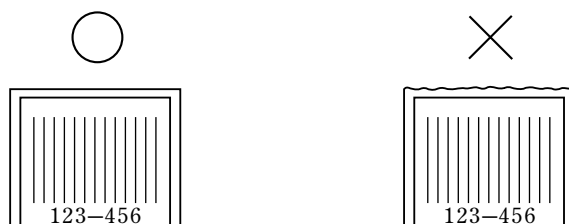
(図1)



(図2)

カッタの交換

カッタを使用していきますと、切れが悪くなりカット面がケバ立ちます。
このような状態になりましたら、カッタユニットの交換が必要です。
その際は、販売店・ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。



▲ セットしたら確認してください

用紙をセットしたら、つぎのことを確認してください。

- －用紙は、きちんとセットしていますか。
- －用紙の種類は合っていますか。
- －サーマルヘッド部は閉じられていますか。
- －カバーは閉まっていますか。

電源を入れてみましょう

用紙のセットが終わったら、電源コードを本機にセットして電源を入れます。

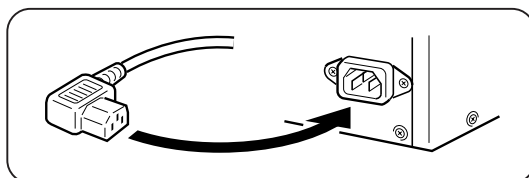
電源のセット

設置が終わったら、つぎのように電源をセットします。

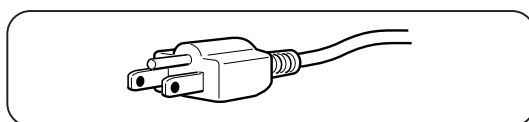
▲ 電源コードとコンセント

電源コードのコンセントをプリンタ本体に差し込むときは、コンセントの上下を確認してください。

プリンタ本体に差し込むときは、本体を片手で押さえて差し込んでください。

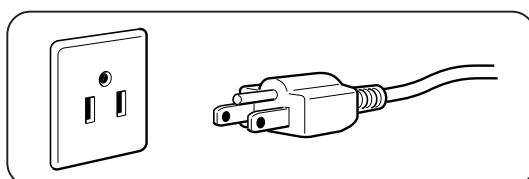


添付の電源コードのプラグの形は、イラストのように3極タイプになっています。

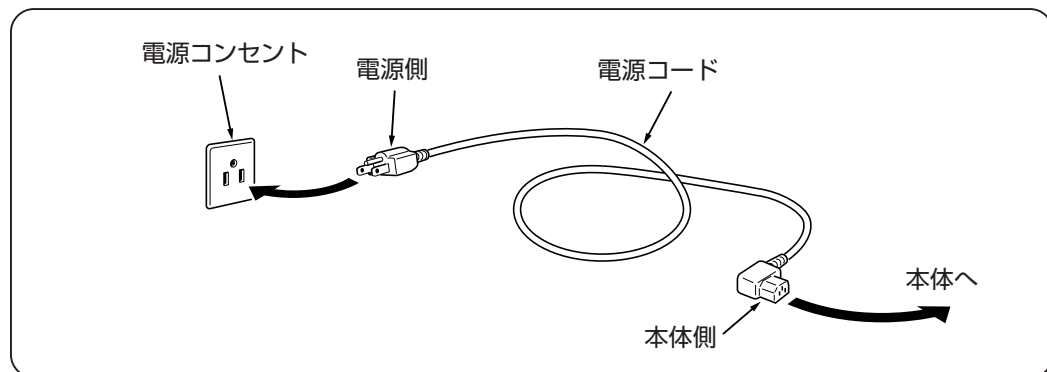


3極タイプのコンセントは3本の足のうち1本がアース用です。

電源コンセントが3極のときは、そのまま電源コードを差し込んでください。



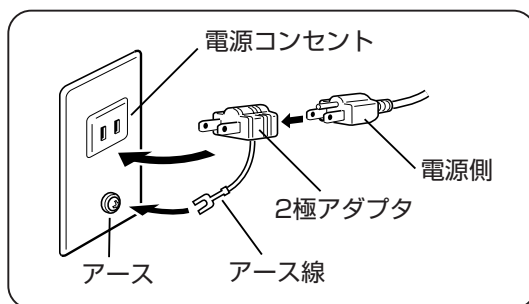
添付の電源コードを本体側、電源コンセント側の順に差し込みます。



電源コンセントが2極タイプの場合は、添付の2極アダプタを使い電源コンセントに差し込んでください。

⚠ 警告

必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。

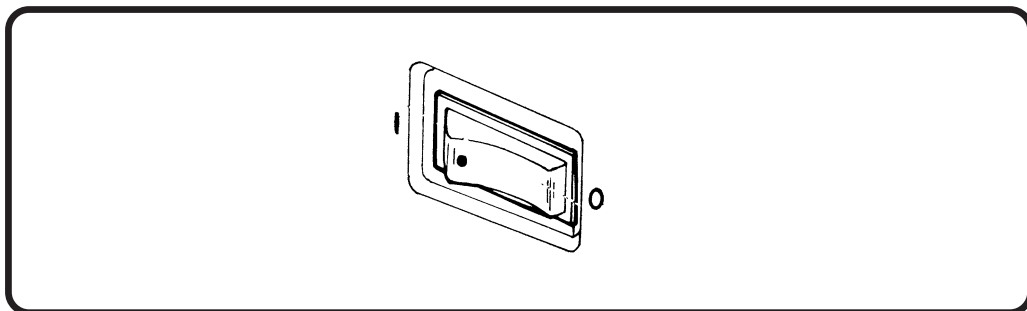


⚠ 注意

本プリンタに付属の電源コードは本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

電源を入れてみましょう

電源スイッチを入れます。「I」と書いてある側を押してください。



電源を入れると、ディスプレイにつきのように「ONLINE」と表示されます。

ONLINE
QTY:000000

⚠ 注意

濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

あれ？おかしいな

今までにおこなった準備が正しくできていないときは、ディスプレイに「ONLINE」と表示されません。準備が正しくできていないときは、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージが、表示されたときは(詳しくは「あれ？どうしたのかな?」を参照してください→49ページ)、準備をし直してください。

電源を切りましょう

本機が正常に動いたことを確認したら、電源を切ってみましょう。
いきなり電源を切らないで、電源を切ってもよいかつぎのことを確認しましょう。

▲ 電源を切る前に確認してください

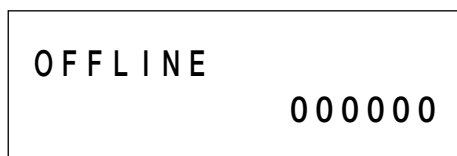
必ずつぎのことをおこなってから、電源を切ってください。

オフライン状態にする

本機の電源を切るときは、オフライン状態になっていることを確認してください。
ディスプレイにつぎのように「ONLINE」と表示されているときは、オンライン状態になっています。



オフライン状態にします。[LINE]キーを押します。ディスプレイに、つぎのように「OFFLINE」と表示されます。



印字した用紙が残っているときは、
用紙を切り取ってください。

用紙の切り取りかた

用紙の片方を持って、ななめ上に
軽く引っ張ります。(標準機の場合)

用紙
(少しひねる)



動かしてみましよう

本機を動かしてみましよう。本機を動かすのに必要な操作のしかたや知識を覚えてください。

動かしてみる前に

本機を本格的に動かしてみる前に、操作の流れを説明します。

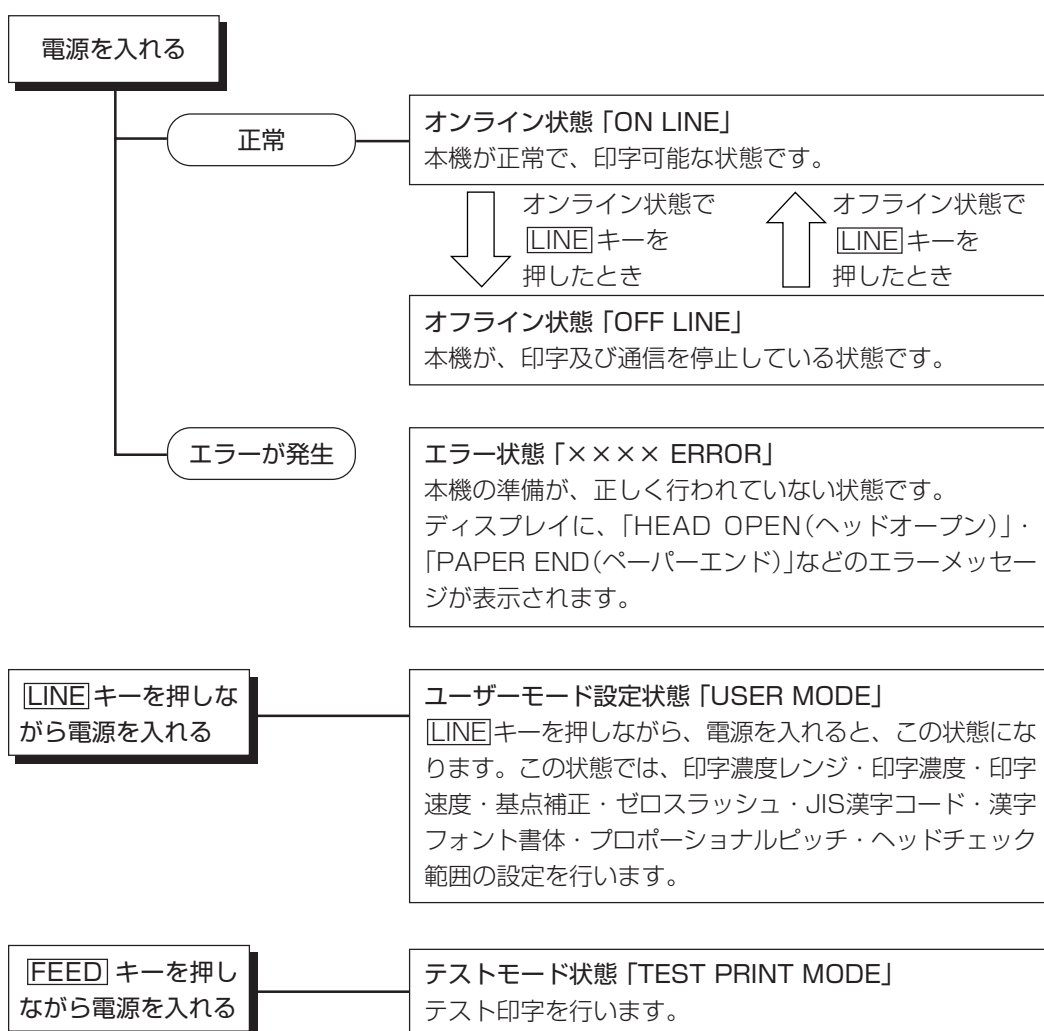
本機は、操作パネルにある2つのキーだけで、簡単に操作できます。

5つの状態から、いろいろな操作を行います。

▲ 操作の流れ

本機はオンライン・オフライン・エラー・ユーザーモード・テストモードの5つの状態から操作をおこないます。

5つの状態と操作の流れをよく理解してください。



詳しい操作

本機の詳しい操作のしかたを説明します。

▲ オンライン操作

本機がオンライン状態のとき、つぎの操作ができます。

【操作のしかた】

- 本機に接続したコンピュータからデータを送り、印字動作をスタートさせます。
- **[LINE]** キーを押して、オフライン状態に切りかえたり、印字を中断することができます。

オンライン状態

本機が正常な状態で、印字可能な状態です。ディスプレイに、つぎのように表示されます。



▲ オフライン操作

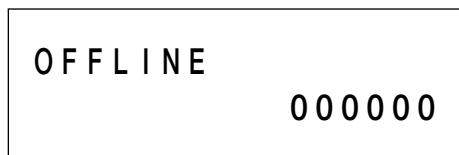
本機がオフライン状態のとき、つぎの操作ができます。

【操作のしかた】

- **[LINE]** キーを押して、オンライン状態に切りかえます。
- **[FEED]** キーを押して、用紙送りをします。

オフライン状態

本機が印字停止している状態です。ディスプレイに、つぎのように表示されます。



▲ 印字キャンセル操作

本機が印字動作中に、**[LINE]** キーを押して印字を中断しているとき、印字データ及び受信バッファをクリアする操作ができます。

【操作のしかた】

- 印字動作中に **[LINE]** キーを押してオフライン状態に切りかえます。
- **[LINE]** キー、**[FEED]** キーを同時に押します。ディスプレイにつぎのように表示されます。



[LINE] キーを押すとカーソルが移動します。

YESを選択し、**[FEED]** キーを押すと印字データ及び受信バッファをクリアします。

NOを選択し、**[FEED]** キーを押すとオンライン状態になります。

クリア中は、ディスプレイにつぎのように表示されます。約3秒後、オフライン状態に変わります。



▲ エラーモード操作

「あれ？どうしたのかな？」で説明します。
→49ページ

▲ ユーザーモード設定操作

ユーザーモード設定操作のとき、プリンタの印字条件を設定するつぎの操作ができます。

- 「DARKNESS RANGE」(印字濃度レンジ設定)
- 「PRINT DARKNESS」(印字濃度設定)
- 「PRINT SPEED」(印字速度設定)
- 「OFFSET」(基点補正設定)

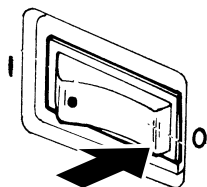
- 「ZERO SLASH」(ゼロスラッシュ切替え設定)
 - 「JIS CODE」(JIS漢字コード切替え設定)
 - 「KANJI MODE」(漢字フォント書体設定)
 - 「PROPORTIONAL PITCH」(プロポーショナルピッチ設定)
 - 「HEAD CHECK」(ヘッドチェック範囲設定)
- 各操作については、詳しくは「印字条件の設定」をご覧ください。

ユーザーモード設定画面の呼び出し

本機の印字条件を設定するには、ユーザーモード設定画面を呼び出します。つぎに、各印字条件の設定画面を呼び出します。

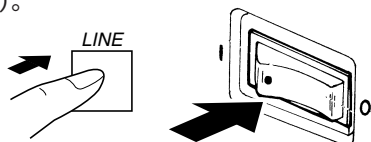
それでは、ユーザーモード設定画面を呼び出してみましょう。

まず、いったん電源を切ります。



「LINE」キーを押しながら電源を入れます。

「LINE」キーは、ブザーが鳴るまで押し続けてください(ブザーが鳴ったらキーから指を離してください)。



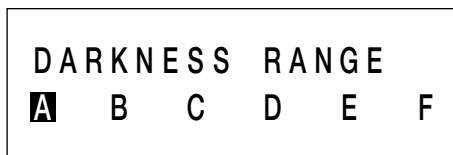
ディスプレイに、つぎのように表示されます。



表示がでたら、「FEED」キーを押します。



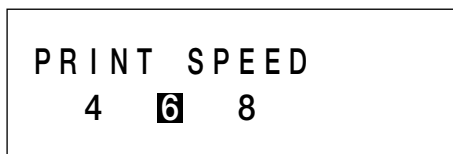
「FEED」キーを1回押すごとに、ディスプレイの表示がつぎのように変わります。



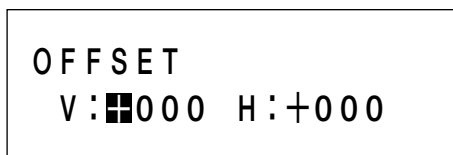
「DARKNESS RANGE」(印字濃度レンジ設定)



「PRINT DARKNESS」(印字濃度設定)



「PRINT SPEED」(印字速度設定)



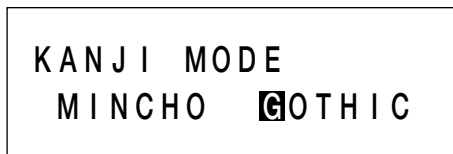
「OFF SET」(基点補正設定)



「ZERO SLASH」(ゼロスラッシュ切替え設定)



「JIS CODE」(JIS漢字コード切替え設定)



「KANJI MODE」(漢字フォント書体設定)

PROPORTIONAL PITCH
YES NO

「PROPORTIONAL PITCH」
(プロポーショナルピッチ設定)

HEAD CHECK
NORMAL BARCODE

「HEAD CHECK」(ヘッドチェック範囲設定)

印字条件の設定

ユーザーモード設定状態で、各印字条件の設定を試みましょう。

設定する前に、本機がユーザーモード設定状態になっているか、ディスプレイの表示を確認してください。

USER MODE

ディスプレイの表示が、ユーザーモードになっていなかったら、いったん電源を切ってください。
[LINE]キーを押しながら、電源を入れ直してください。

注意

設定の登録

各印字条件の設定を登録するためには、設定が終了後、[FEED]キーを1回押してください。
設定が登録され、つぎの設定画面が表示されます。



[FEED]キーを押さないかぎり、設定は登録されませんので注意してください。

USER MODE

FEED



[FEED]キーを1回押します。ディスプレイにっぎのように表示されます。

① 印字濃度レンジ設定

印字濃度レンジを変更することでお客様ご使用の用紙種にあった印字品質を得ることができます。
印字濃度レンジ設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。

DARKNESS RANGE
A B C D E F



【操作のしかた】

AからFまでは、印字濃度のレンジを表します。

A = MR600eシリーズにてご使用の用紙

B、C、D、E、Fにつきましては担当営業員にお問い合わせください。

カーソルのある値が、設定された濃度レンジになります。

[LINE]キーを押すとA⇒B⇒C⇒D⇒E⇒F⇒Aの順に移動します。

[FEED]キーを押すと設定が登録されつぎの設定画面に変わります。

初期値はAになります。

② 印字濃度設定

印字の濃度(濃さ)を、3段階で設定できます。
印字濃度設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。



【操作のしかた】

1(L)、2(M)、3(D)の数字は、印字の濃度(濃さ)を表します。

1(L)が一番薄く、3(D)が一番濃くなります。

LINEキーでカーソルを移動し、数字を選び、印字の濃度を設定します。

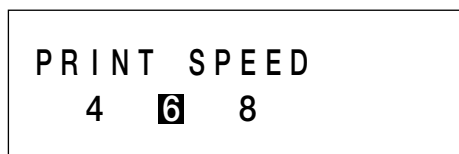
LINEキーを1回押すと、カーソルが数字1桁右に移動します。

FEEDキーを押すと、設定が登録されつぎの設定画面に変わります。

初期値は、2(M)になります。

③ 印字速度設定

印字の速度を、3段階で設定できます。
用紙又は印字内容によって、良い印字品質が得られないときは、速度を下げてください。
印字速度設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。



【操作のしかた】

4、6、8の数字は印字の速度を表します。
4インチ/sが一番遅く、8インチ/sが一番速くなります。

LINEキーでカーソルを移動し、数字を選び、印字の速度を設定します。

FEEDキーを押すと、設定が登録されつぎの設定画面に変わります。

初期値は、6インチ/s になります。

④ 基点補正設定

基点補正設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。



基点補正

基点補正とは、用紙に印字する位置を設定する操作です。

本機には、最初から印字の基準となる位置(印字基準位置)が記憶されています。この印字基準位置からどれくらい離れた位置(基点)に印字するかを設定します。

本機では印字基準位置から印字したい位置までの距離をドット単位で設定します。1ドットの長さは機種によって違います。MR600eは1ドット=0.125mm、MR610eは1ドット=0.083mmです。

したがってMR600eでは8ドット=1mm、MR610eでは12ドット=1mmとなります。

V：印字基準位置から、縦方向に何ドット離れた位置を基点にして印字するかを設定します。

“+”と“-”は移動する方向です。

“+”：印字方向に対し後ろ

“-”：印字方向に対し前

H：印字基準位置から、横方向に何ドット離れた位置を基点にして印字するかを設定します。

“+”と“-”は移動する方向です。

“+”：フレーム側(奥側)

“-”：カバー側(外側)

注意事項：ヘッドの密度により補正画面が異なりますのでご注意ください。

MR600e：V±000～600ドット

H±000～600ドット

MR610e：V±000～1700ドット

H±000～600ドット

【操作のしかた】

1 基点位置補正操作

基点位置補正操作画面がディスプレイに表示されると、V(縦方向)の+の下にカーソルがきています。

[LINE] キーを1回押すたびに+と-に表示が変わります。

[FEED] キーを押すたびにカーソルが移動します。



2 V(縦方向)の移動ドット数の設定

カーソルが、V(縦方向)の数字の下にあります。

[LINE] キーを1回押す度に数字が1つ上がります。

[LINE] キーを押して合わせたい数字に設定します。

[FEED] キーを押して設定を登録します。

カーソルが、H(横方向)の“+”の下にあります。



3 H(横方向)の移動方向の設定

カーソルが、H(縦方向)の“+”の下にあります。

[LINE] キーを1回押す度に“+”と“-”に変わります。

[LINE] キーを押して、移動したい方向に合わせます。

[FEED] キーを押して、設定を登録します。

カーソルが、H(横方向)の数字の下に移動します。



4 H(横方向)の移動ドット数の設定

カーソルが、H(横方向)の数字の下にあります。

[LINE] キーを1回押す度に数字が1つ上がります。

[LINE] キーを押して合わせたい数字に設定します。

[FEED] キーを押して設定を登録します。

初期値は、縦基点補正0ドット、横基点補正0ドットになります。

【設定しましょう】

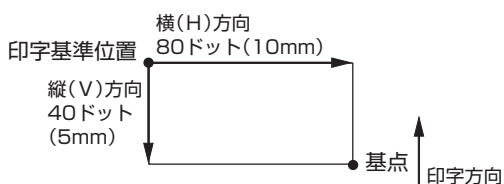
それでは実際に設定してみましょう。

MR600eで印字基準位置から

縦(V)方向に+40ドット(5mm)

横(H)方向に+80ドット(10mm)

離れた位置を基点として、下の図のように印字することになります。



ディスプレイに、基点補正設定画面が表示されていることを確認してください。



[LINE]キーで移動したい方向、合わせたい数字に設定し、[FEED]キーで設定の登録を行い、つぎの画面表示にしてください。

OFFSET V:+040 H:+080

FEED

[FEED]キーを1回押します。

ディスプレイの画面は、ゼロスラッシュ切替え設定画面に変わります。

これで基点補正の設定は終わりです。

⑤ ゼロスラッシュ切替え設定

ゼロスラッシュ(漢字は除く)を“0”又は、“0”に設定できます。

ゼロスラッシュ切替え設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。

ZERO SLASH YES NO

LINE

FEED

【操作のしかた】

表示の“YES(0)”と“NO(0)”が印字するゼロスラッシュを表します。

[LINE]キーでカーソルを移動し、ゼロスラッシュを設定します。

[FEED]キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。

ディスプレイの画面は、JIS漢字コード切替え設定画面に変わります。

初期値は“NO(0)”になります。

⑥ JIS漢字コード切替え設定

取り扱うJIS漢字コードをJISコード、シフトJISコードに設定できます。

JIS漢字コード切替え設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。

JIS CODE JIS SJIS

LINE

FEED

【操作のしかた】

表示の“JIS”、“SJIS”が取り扱うJIS漢字コードを表します。

[LINE]キーでカーソルを移動し、JIS漢字コードを設定します。

[FEED]キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。

ディスプレイの画面は、漢字フォント書体設定画面に変わります。

初期値は、JISコードになります。

⑦ 漢字フォント書体設定

漢字フォント書体の“ゴシック体”、“明朝体”を選択することができます。

漢字フォント書体設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。

KANJI MODE MINCHO GOTHIC

LINE

FEED

【操作のしかた】

表示の“MINCHO”、“GOTHIC”が漢字フォント書体を表します。

[LINE]キーでカーソルを移動し、漢字フォント書体を設定します。

[FEED]キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。

ディスプレイ画面は、プロポーショナルピッチ設定画面に変わります。

初期値は、ゴシック体になります。

⑧ プロポーショナルピッチ設定

プロポーショナルピッチ処理を設定することができます。

プロポーショナルピッチ設定画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。

PROPORTIONAL PITCH	
YES	NO
LINE <input type="checkbox"/>	FEED <input type="checkbox"/>

対象フォントは、×21～×24となります。

【操作のしかた】

表示の“YES”(有効)、“NO”(無効)がプロポーショナルピッチ処理の有効、無効を表します。

LINEキーでカーソルを移動し、有効、無効を設定します。

FEEDキーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。

ディスプレイの画面は、ヘッドチェック範囲設定画面に変わります。

初期値は、無効になります。

⑨ ヘッドチェック範囲設定

ヘッドチェックを行う範囲を印字領域、バーコード印字領域に設定できます。

ヘッドチェック範囲設定画面が、つぎのように表示されているか確認してください。

HEAD CHECK	
NORMAL	BARCODE
LINE <input type="checkbox"/>	FEED <input type="checkbox"/>

表示の“NORMAL(印字領域)”、“BARCODE(バーコード印字領域)”がヘッドチェック範囲を表します。

LINEキーでカーソルを移動し、ヘッドチェック範囲を設定します。

FEEDキーを押すと設定が登録され、ユーザーモードの最初の画面に戻ります。

初期値は、印字領域になります。

【ヘッドチェック機能について】

ヘッドチェック機能はヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。

定期的に読取りチェックをお願いします。

(印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生ずることがあります。)

ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキナ読取りを行って確認してください。

<ヘッドエラー発生時の対処方法>

①ヘッドチェック範囲設定が印字領域の場合ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。

● **FEED**キーを5秒間押すと、ヘッドチェック範囲設定画面が表示されます。

・“NORMAL”を選択すると、ヘッドチェック範囲は印字領域のまま発行を再開します。

再度ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。

・“BARCODE”を選択すると、ヘッドチェック範囲をバーコード印字領域に切り替えて発行を再開します。

②ヘッドチェック範囲設定がバーコード印字領域の場合ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。

● **LINE**キー、**FEED**キーを5秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

これでユーザーモード設定操作による、プリンタ設定が終了しました。ユーザーモード設定を終了するには、一度電源を切ってください。

変更した設定値は、つぎに電源を入れることで有効となります。

▲テストモード操作

テスト印字をしてみましょう。

プリンタの電源が入っていたら、いったん電源を切ってください。

[FEED] キーを押しながら、電源を投入します。

[FEED] キーは、ブザーが鳴るまで押し続けてください(ブザーが鳴ったらキーから指を離してください)。

ブザーが鳴りディスプレイにつきのように表示されます。



テスト印字パターンを選択します。

[LINE] キーを押すたびに表示が変わります。

- "SETTING" 本機設定内容を印字します。
- "BARCODE" 本機に搭載しているバーコードを印字します。
- "HEADCHECK" 選択している用紙サイズ領域のヘッドチェックパターンを印字します。
- "MEMORY" 本機に搭載している拡張メモリ内容を印字します。
- "FONT" 本機に搭載しているフォント内容を印字します。
- "FACTORY" 工場テスト印字を行ないません。

[LINE] キーを押して印字したいパターンに合わせます。

[FEED] キーを押します。



テスト印字の用紙サイズを選択します。

[LINE] キーを1回押すたびに数字が1つ上がります。

用紙サイズは、1cm単位になります。

4CM⇒5CM⇒6CM⇒7CM⇒8CM⇒9CM⇒10CM⇒11CM⇒12CM⇒13CM⇒14CM⇒15CM(MR600e)

4CM⇒16CM(MR610e)

[FEED] キーを押します。(用紙サイズを決定します。)

テスト印字を開始します。



テスト印字を止めるためには、[FEED] キーを1回押します。

再度、[FEED] キーを押すとテスト印字が再スタートします。

ユーザーテスト印字モードを終了するには、プリンタの電源を切ってください。

▲アドバンスドモード操作

ユーザーモードから[LINE] キー、[FEED] キーを同時に押します。

ディスプレイにつきのように表示されます。



[FEED] キーを押すと、ディスプレイにつきのように表示されます。

※MR610eのみ表示されます。

HEAD DOT DENSITY
1 DOT 2 DOT

FEED

基本ドットサイズ1 DOT (0.083mm)、2 DOT (0.166mm)を選択することができます。

[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。

1 DOT 選択の場合、基本ドットサイズが0.083mmなります。

2 DOT 選択の場合、基本ドットサイズが0.166mmなります。

[FEED]キーを押します。基本ドット構成が決定され、ディスプレイにつきのように表示されます。

AUTO ONLINE
YES NO

LINE FEED

電源投入時に、自動でオンライン状態にするか選択を行うことができます。

[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。

YES選択の場合、起動後、オンライン状態になります。NO選択の場合、起動後、オフライン状態になります。

[FEED]キーを押します。オートオンラインが決定され、ディスプレイにつきのように表示されます。

INITIAL FEED
YES NO

LINE FEED

電源投入時に、必ず用紙フィード動作を行うかを設定することができます。

[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。

YES選択の場合、用紙フィードを行います。

NO選択の場合、用紙フィードは、行いません。

[FEED]キーを押します。初期フィードが決定され、ディスプレイにつきのように表示されます。

ONLINE FEED
YES NO

LINE FEED

電源投入時の1回目のオンラインとヘッドオープン後のオンライン時に、必ず用紙フィード動作を行うかを設定することができます。

[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。

YES選択の場合、用紙フィードを行います。

NO選択の場合、用紙フィードは、行いません。

[FEED]キーを押します。オンラインフィードが決定され、ディスプレイにつきのように表示されます。

CENTRONICS
ACK SIGNAL OFF

LINE FEED

ACK信号の出力タイミング設定を行います。BUSY信号の内、又は終了後のどちらかを選択することができます。

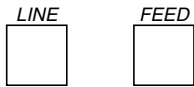
[LINE]キーを1回押すとON状態に、もう一度

[LINE]キーを1回押すとOFF状態になります。

(ONの場合は、BUSY信号の終了後、OFFの場合は、BUSY信号の内側になります。)

[FEED]キーを押します。ACK信号出力タイミングが決定され、ディスプレイにつきのように表示されます。

CENTRONICS
FAULT SIGNAL OFF



FAULT信号タイミングを設定します。FAULT信号をSELECT信号と同期する動作にするか、しないかを選択することができます。

[LINE]キーを1回押すと、ON状態に、もう一度[LINE]キーを1回押すとOFF状態になります。(ONの場合は、SELECT信号と同期します。OFFの場合は、非同期になります。)

[FEED]キーを押します。FAULT信号タイミングが決定され、ディスプレイに次のように表示されます。

IEEE1284
ACK SIGNAL 00.5



IEEE1284のACK幅の設定をします。(IEEE1284ボードが装着されていて、1アイテム受信設定時のみ表示)

ACK信号幅を0.1 μ s単位で設定することができます。

[LINE]キーを押す毎に0.1 μ s単位で加算します。10.0 μ sが最大です。(00.5→00.6→・・・→10.0→00.5)

[FEED]キーを押します。IEEE1284のACK幅が決定され、ディスプレイに次のように表示されます。

ADVANCED MODE



アドバンスドモードを終了するには、プリンタの電源を切ってください。

▲カードモード操作

アドバンスドモードから[LINE]キー、[FEED]キーを同時に押します。

ディスプレイに次のように表示されます。

CARD MODE



[FEED]キーを押すと、ディスプレイに次のように表示されます。

CARD DRIVE NO

1 2



カードドライブのドライブ番号設定を行います。カードドライブをドライブ1(本体メモリをドライブ2)にするか、ドライブ2(本体メモリをドライブ1)にするかの設定を行います。

[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。

1選択の場合、カードスロットが「ドライブ1」になり、本体メモリが「ドライブ2」になります。2選択の場合、カードスロットが「ドライブ2」になり、本体メモリが「ドライブ1」になります。

[FEED]キーを押します。設定内容を決定します。

ディスプレイに次のように表示されます。

CARD->MEMORYCOPY
KANJIOUTLINE Y/N



漢字アウトラインカードのコピーを選択します。
漢字アウトラインカードを本体メモリへコピーします。

[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。
N選択の場合、コピーを行いません。Y選択の場合、カードスロットに装着されたアウトラインカードを、本体メモリへコピーします。

[FEED]キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

CARD - > MEMORY COPY
TRUE TYPE FONT Y / N



TRUE TYPEフォントが収納されているカードから、TRUE TYPEフォントデータを本体メモリへコピーします。

[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。
N選択の場合、コピーを行いません。Y選択の場合、カードスロットに装着されたカードからTRUE TYPEフォントデータを、本体メモリへコピーします。

[FEED]キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

CARD - > MEMORY COPY
SATO FONT Y / N



SATOフォントが収納されているカードから、SATOフォントデータを本体メモリへコピーします。

[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。
N選択の場合、コピーを行いません。Y選択の場合、カードスロットに装着されたカードからSATOフォントデータを、本体メモリへコピーします。

[FEED]キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

CARD - > MEMORY COPY
ALL Y / N



カードに収納されている全てのデータを、本体メモリへコピーします。

[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。
N選択の場合、コピーを行いません。Y選択の場合、カードスロットに装着されたカードの全てのデータを、本体メモリへコピーします。

[FEED]キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

MEMORY - > CARD COPY
ALL < ? MB > Y / N



本体メモリに収納されている全てのデータを、カードへコピーします。

[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。
N選択の場合、コピーを行いません。Y選択の場合、本体メモリの内容、全てをカードへコピーします。

[FEED]キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

CARD - > MEMORY COPY
PROGRAM Y / N

プログラムデータが収納されているカードから、本体メモリへコピーします。

[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。
N選択の場合、コピーを行いません。Y選択の場合、カードスロットに装着されたカードからプログラムデータを、本体メモリへコピーします。

[FEED]キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

MEMORY -> CARDCOPY
PROGRAM Y / **N**

LINE FEED

本体メモリに収納されているプログラムデータを、カードへコピーします。

[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。
N選択の場合、コピーを行いません。Y選択の場合、本体メモリに収納されているプログラムデータをカードスロットに装着されたカードへコピーします。

[FEED]キーを押します。Yが選択された場合、コピーを実行します。

CARD FORMAT
YES **NO**

LINE FEED

カードスロットに装着された、カードをフォーマット(初期化)します。

[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。
NO選択の場合、フォーマット(初期化)を行いません。YES選択の場合、フォーマット(初期化)を行います。

[FEED]キーを押します。YESが選択された場合、フォーマット処理を実行します。

MEMORY FORMAT
YES **NO**

LINE FEED

本体メモリをフォーマット(初期化)します。
[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。
NO選択の場合、フォーマットを行いません。
YES選択の場合、フォーマット(初期化)を行います。

[FEED]キーを押します。YESが選択された場合、フォーマット処理を実行します。

CARD MODE

LINE FEED

カードモードを終了するには、プリンタの電源を切ってください。

※コピー中のメッセージ

カードコピーを実行すると、ディスプレイに次のように表示されます。

XXXXXXXX START
YES **NO**

[LINE]キーを押すとカーソルが移動します。
NO選択の場合、コピーしません。YES選択の場合、コピーを行います。

[FEED]キーを押します。YESが選択された場合、コピーを実行します。

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
COPYING

コピー中



XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
COMPLETED

コピー終了

LINE FEED

コピー終了後は、画面表示3秒後に元の選択画面に戻ります。

ご注意！

通常は使用しないでください。印字条件が変更されます。

初期値設定(デフォルトセット)

初期値とは、本機がはじめから記憶している設定値です。

この初期値設定をおこなうと、いままでの印字条件の設定値を本機が記憶している設定値に戻します。

【操作】

プリンタの電源が入っていたら、いったん電源を切ってください。

[LINE] キーと **[FEED]** キーを同時に押しながら、電源を入れます。

ブザーが鳴るまで **[LINE]** キーと **[FEED]** キーを押し続けてください。

ディスプレイにつきのように表示されます。



[LINE] キーを押してYESを選択後、**[FEED]** キーを押すとデフォルトセットを行います。終了するとき
は、電源を切ってください。

デフォルトセットが終了するとディスプレイにつきのように表示されます。



ユーザーモード設定操作、アドバンスドモード設定操作の各設定値がつぎの初期値に戻ります。

設定項目	MR600eシリーズ		参照ページ
	MR600e	MR610e	
ユーザーモード			
印字濃度レンジ	A	A	29
印字濃度	2	2	30
印字速度	6	6	30
基点補正	V : +000 H : +000	V : +0000 H : +000	30~32
ゼロスラッシュ切替え	NO	NO	32
JIS漢字コード切替え	JIS	JIS	32
漢字フォント書体	GOTHIC	GOTHIC	32
プロポーショナルピッチ	NO	NO	33
ヘッドチェック範囲	NORMAL	NORMAL	33
アドバンスドモード			
基本ドット構成	—	1DOT	35
オートオンライン	YES	YES	35
初期フィード	NO	NO	35
オンラインフィード	NO	NO	35
セントロニクス インタフェースボード ACK信号	OFF	OFF	35
セントロニクス インタフェースボード FAULT信号	OFF	OFF	36
IEEE1284パラレル インタフェース ACK幅	0.5 μ S	0.5 μ S	36

▲ディップスイッチによる設定

操作部の下にあるディップスイッチは、プリンタの動作を決める重要なスイッチです。
間違えて設定しますとプリンタは、正常に動作しません。
プリンタの動作を十分理解した上で、設定してください。

電源を切っていることを確認してください。

ディップスイッチ表により設定したい条件にディップスイッチを設定します。
ディップスイッチの設定は、電源を入れ直したときに有効になります。



注意

詳しくは、販売店・ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。

MR600eシリーズ プリンタ ディップ・スイッチ表(DSW2)		
NO	機能	説明
1	印字方式設定	ON : 感熱方式 OFF : 熱転写方式
2	用紙センサ設定	ON : 未使用 OFF : 反射式(アイマーク)
3	ヘッドチェック*	ON : 有効 OFF : 無効
4	HEXダンプモード	ON : 有効 OFF : 無効
5	受信モード	ON : 1アイテム受信 OFF : マルチ受信 LANの場合は、OFF⇒周期応答ステータス ON⇒ENQ応答ステータス
6	ダウンロードモード	ON : 有効 OFF : 無効
7	工場設定用	通常OFF(変更しないでください。)
8	印字領域設定	ON : 178mm(MR610e) 236mm(MR600e) OFF : 400mm

※ ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能(DSW2-3「ON」)は、ヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。
定期的に読取りチェックをお願いします。

MR600eシリーズ プリンタ ディップ・スイッチ表(DSW3)

NO	機能	説明					
			センサ	モード	動作	バックフィード	
1	動作モード設定 (連続・ティアオフ・ カッタ・ハクリ)	OFF OFF OFF OFF	有効	連続			
		ON OFF OFF OFF	有効	ティアオフ			
2		OFF ON OFF OFF	有効	ハクリ	センサ	無し	
		ON ON OFF OFF	有効	ハクリ	センサ	有り	動作1
		OFF OFF ON OFF	有効	ハクリ	パルス	無し	
		ON OFF ON OFF	有効	ハクリ	パルス	有り	動作1
		OFF ON ON OFF	有効	ハクリ	パルス	有り	動作2
		ON ON ON OFF	有効	カッタ	シートエンド	無し	
3		OFF OFF OFF ON	有効	カッタ	シートエンド	有り	動作1
		ON OFF OFF ON	有効	カッタ	シートエンド	有り	動作2
		OFF ON OFF ON	無効	連続			
		ON ON OFF ON	無効	カッタ	シートエンド	無し	
		OFF OFF ON ON	無効	カッタ	シートエンド	有り	動作1
4		ON OFF ON ON	有効	カッタ	パルス	有り	動作1
		OFF ON ON ON	有効	カッタ	パルス	有り	動作2
		ON ON ON ON	無効	カッタ	パルス	有り	動作1
5	未使用						
6	外部信号切替え	ON-ON : TYPE I					
7		ON-OFF : TYPE II					
		OFF-ON : TYPE III					
		OFF-OFF : TYPE IV					
8	外部信号再発行	ON : 有効 OFF : 無効					

※ 通常は、網かけのしてある部分のみ指定してください。

「シートエンド」 印字動作、ラベルフィード動作後にラベルをカットします。

「パルス」 本機の後部にある「EXT(外部信号)」を使用して動作を行ないます。

「動作1」 発行→用紙送り→カット動作→バックフィードとなります。

「動作2」 バックフィード→発行→用紙送り→カット動作となります。

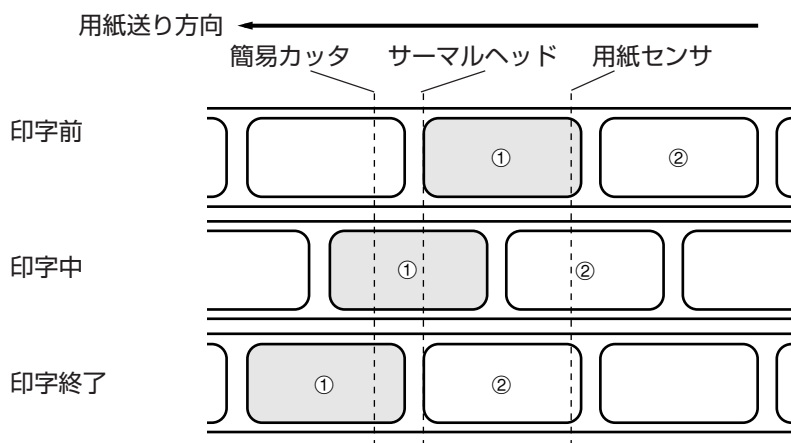
※ 詳細については、アクセサリCD-ROMのマニュアルを参照してください。

連続印字とティアオフ

本プリンタの動作モードでは、オプション(カッタやハクリ)を使用しない動作モードとして、連続印字動作とティアオフ動作があります。

連続印字動作モード

連続印字動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字するモードで、印字終了後、又は、1枚フィードの時には、つぎの印字開始位置がサーマルヘッド位置で停止します。

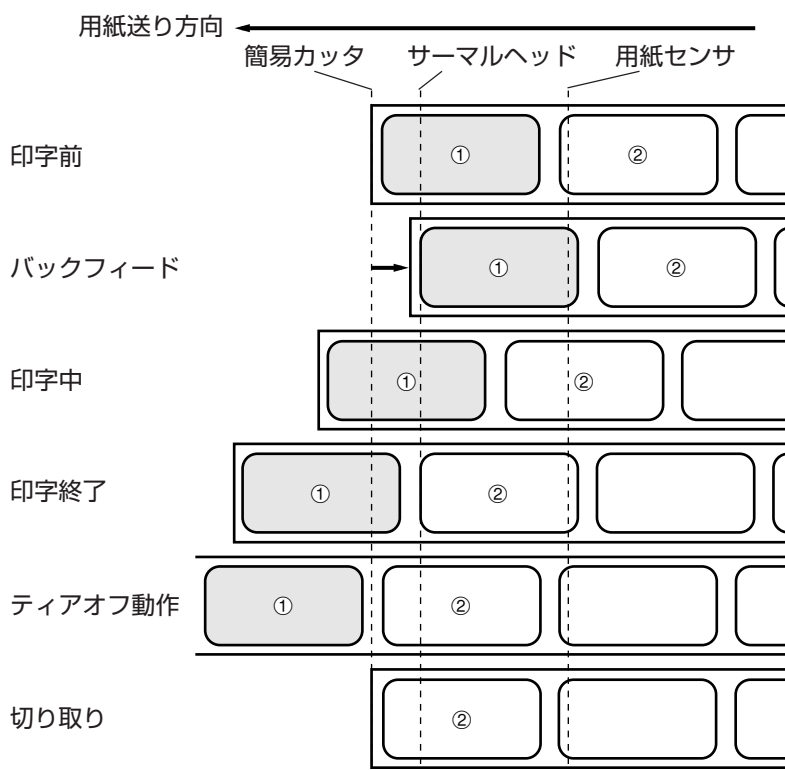


ティアオフ動作モード

ティアオフ動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字した後、ラベルとラベルの間(台紙部)を簡易カッタの位置まで自動的に送り出します。

この動作により、印字終了後に手で簡単に用紙を切り取ることができます。

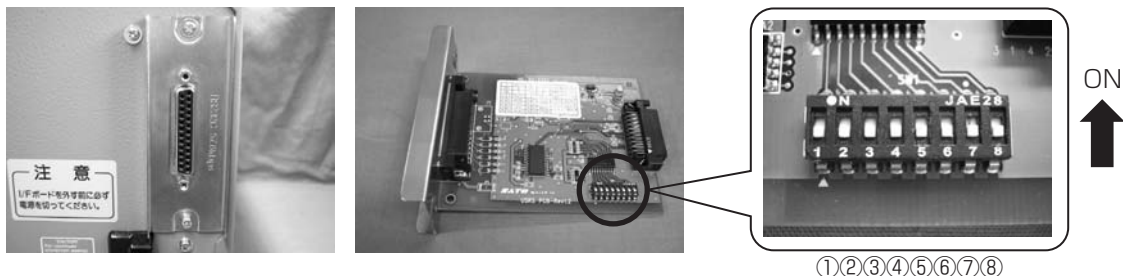
又、つぎの印字を行なう時には、用紙の先端がサーマルヘッド位置までもどり、印字を開始します。



○ インタフェースボードの設定

▲ RS-232C

RS-232Cインタフェースボード(オプション)には、通信条件を決めるディップスイッチがあります。ディップスイッチを変更するためには、①プリンタの電源を切り、②RS-232Cケーブルを取り外し、③RS-232Cインタフェースボード(オプション)の取り付けネジを2本取り外し、④RS-232Cインタフェースボード(オプション)を取り外してから行ってください。



①②③④⑤⑥⑦⑧

MR600eシリーズ RS-232Cインタフェースボード ディップスイッチ表				
NO	機能	説明		
1	データ長設定	ON : 7ビット OFF : 8ビット		
2	パリティビット設定	OFF - OFF : 無し		
3		OFF - ON : 偶数		
		ON - OFF : 奇数		
4	ストップビット設定	ON : 2ビット OFF : 1ビット		
5	ボーレート設定	OFF - OFF : 9600bps		
6		OFF - ON : 19200bps		
		ON - OFF : 38400bps		
		ON - ON : 57600bps		
7	通信プロトコル設定	1-7	1-8 互換モードOFF	互換モードON
8		OFF - OFF : READY/BUSY		READY/BUSY
		OFF - ON : XON/XOFF		XON/XOFF
		ON - OFF : ドライバ専用プロトコル		ステータス3
		ON - ON : 未使用		未使用

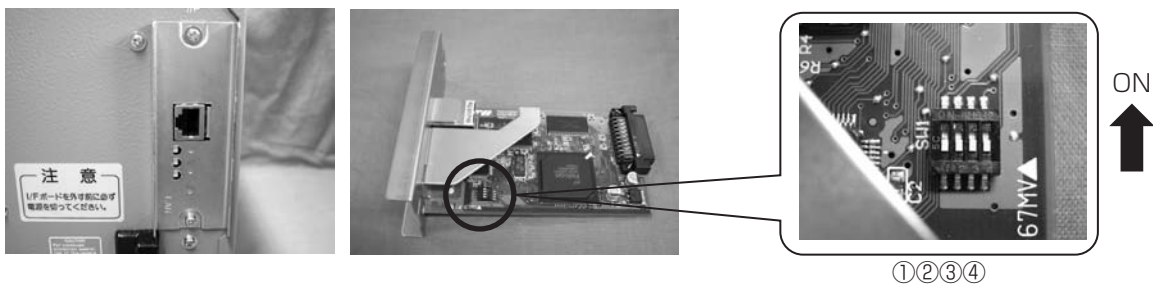
※RS-232Cインタフェースボードの設定1シールを確認してください。
通信プロトコル設定は互換モードによって異なります。

⚡ 注意

インタフェースボードの取り付け、取り外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行ってください。インタフェースボードやプリンタ本体を破損する恐れがあります。

▲ LAN2

LAN2インタフェースボード(オプション)には、LAN設定情報初期化、LAN設定情報印字、自己診断印字するディップスイッチがあります。ディップスイッチを変更するためには、①プリンタの電源を切り、②LANケーブルを取り外し、③LAN2インタフェースボード(オプション)の取り付けネジを2本取り外し、④LAN2インタフェースボード(オプション)を取り外してから行ってください。



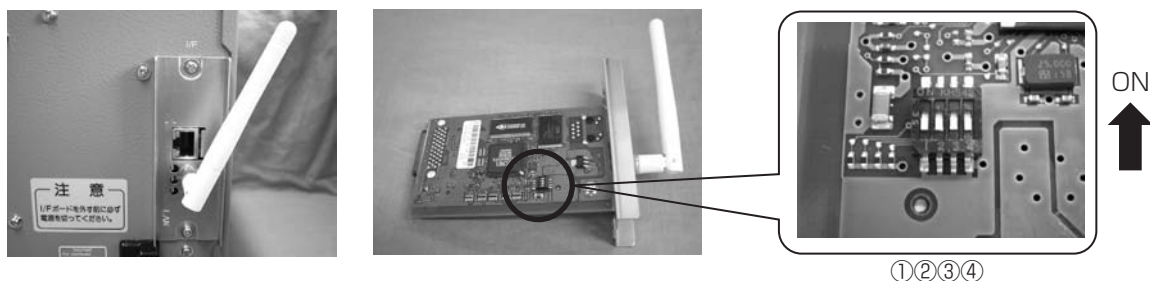
MR600eシリーズ LAN2インタフェースボード ディップスイッチ表	
NO	ONにしてプリンタの電源を入れたときの動作
1	未使用
2	LAN2インタフェースボード設定情報初期化
3	LAN2インタフェースボード設定情報印字 (IPアドレス等の設定情報を印字します)
4	LAN2インタフェースボード自己診断印字 (LAN2インタフェースボードの診断結果を印字します)

※全てOFFに設定してください。

▲ 無線LAN2

無線LAN2インタフェースボード(オプション)には、LAN/無線LAN設定情報初期化、LAN/無線LAN設定情報印字、自己診断印字、通信モードを設定するディップスイッチがあります。

ディップスイッチを変更するためには、①プリンタの電源を切り、②LANケーブルを接続している場合はLANケーブルを取り外し、③無線LAN2インタフェースボード(オプション)の取り付けネジを2本取り外し、④無線LAN2インタフェースボード(オプション)を取り外してから行ってください。

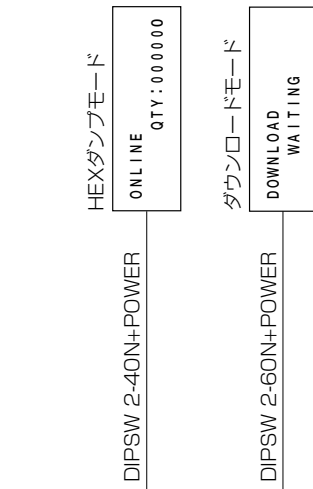
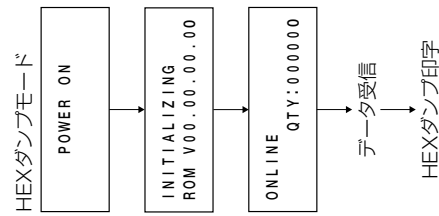
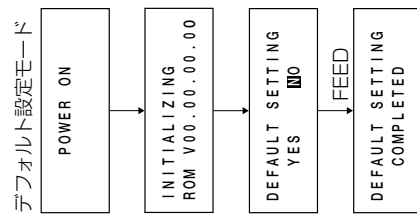
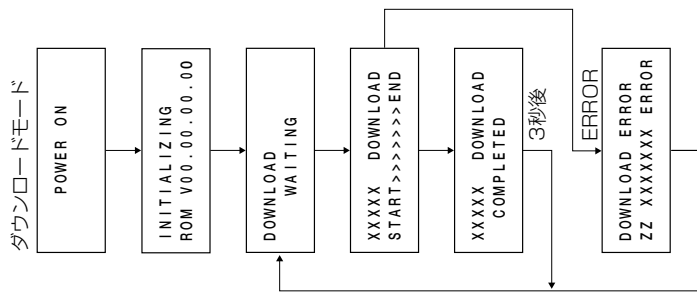
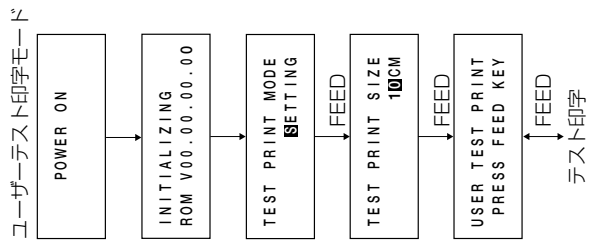
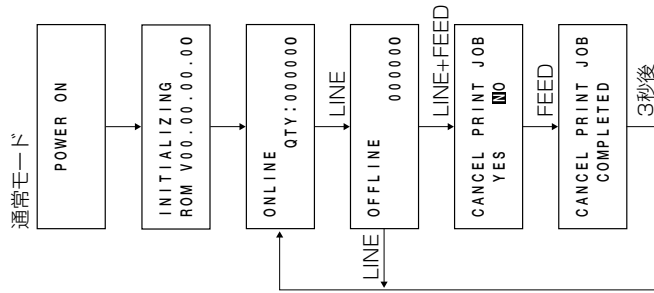
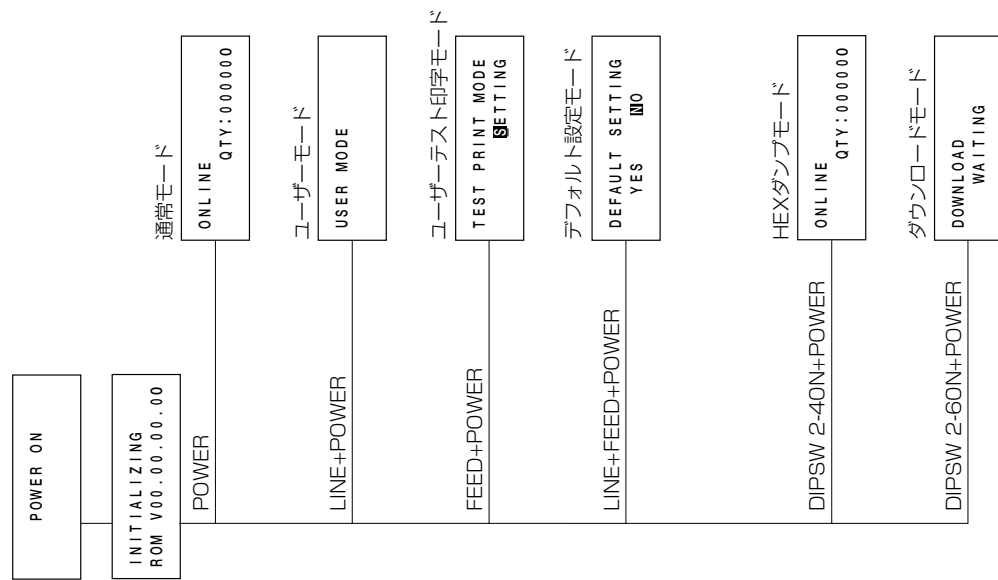


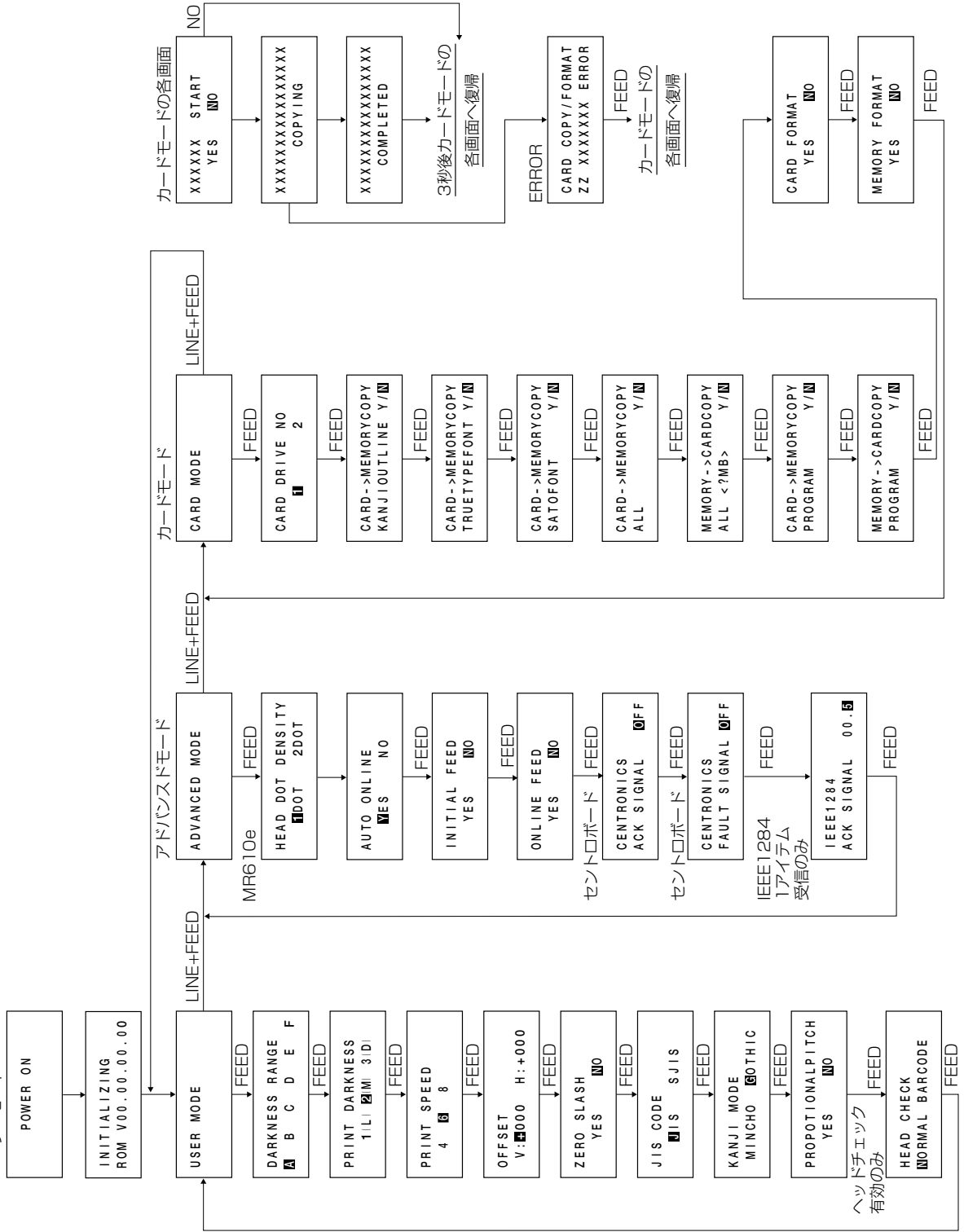
MR600eシリーズ 無線LAN2インタフェースボード ディップスイッチ表	
NO	ONにしてプリンタの電源を入れたときの動作
1	未使用
2	無線LAN2インタフェースボード設定情報初期化
3	無線LAN2インタフェースボード設定情報印字/自己診断印字 (IPアドレス等の設定情報の印字と無線LAN2インタフェースボードの診断結果を印字します)
4	通信モード (無線LAN動作の場合)
	ON : Infrastructure OFF : Ad hoc

LANケーブルを接続して電源を投入すると、LANインタフェースで起動します。

LANケーブルを接続せずに電源を投入すると、無線LANインタフェースで起動します。

ディスプレイ画面遷移図





あれ？どうしたのかな？

ディスプレイにエラーメッセージが表示されたとき、本機はエラー状態になります。こんなとき、どうしたらよいか説明します。また、本機の操作をしてうまくいかなかったときはこの章をお読みください。

▲エラーメッセージがでたけれど

ディスプレイにエラーメッセージを表示したとき、プリンタはエラー状態になります。こんなときどうしたらよいか説明します。

また、プリンタを操作していて、うまくいかないときもこの章をお読みください。

エラー番号	ディスプレイ	説明
01	MACHINE ERROR 01	マシンエラーの表示です。 原因：予想外のエラーです。 対策：販売店・ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：長音1回 外部信号：マシンエラー
02	EEPROM ERROR 02	EEPROMエラーの表示です。 原因：EEPROM回数オーバー。 対策：販売店・ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警告音：長音1回 外部信号：マシンエラー
03	PARITY ERROR 03	パリティエラーの表示です。 原因：①RS-232Cの通信条件が合っていない。 ②ケーブル接続異常。 対策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー
04	OVERRUN ERROR 04	オーバーランエラーの表示です。 原因：①RS-232Cの通信条件が合っていない。 ②ケーブル接続異常。 対策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー
05	FRAMING ERROR 05	フレーミングエラーの表示です。 原因：①RS-232Cの通信条件が合っていない。 ②ケーブル接続異常。 対策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー

エラー 番号	ディスプレイ	説 明
06	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> BUFFER OVER 06 </div>	<p>バッファオーバーの表示です。</p> <p>原 因：①受信バッファを超えるデータを受信した場合。 ②通信プロトコルが合っていない。(制御信号やデータを無視し、ホストよりデータが送信された場合)</p> <p>対 策：通信プロトコルに合うようにシステムを修正してください。</p> <p>警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>
07	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> HEAD OPEN 07 </div>	<p>ヘッドオープンの表示です。</p> <p>原 因：①ヘッドがロックされていません。</p> <p>対 策：①ヘッドをロックしてください。</p> <p>警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>
08	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> PAPER END 08 </div>	<p>ペーパーエンドの表示です。</p> <p>原 因：①用紙がありません。</p> <p>対 策：①用紙を正しくセットしてください。</p> <p>警 告 音：短音3回 外部信号：ペーパーエンド</p>
09	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> RIBBON END 09 </div>	<p>リボンエンドの表示です。</p> <p>原 因：①リボンがありません。 ②リボンスリットセンサのレベルが合っていない。</p> <p>対 策：①リボンを正しくセットしてください。 ②リボン搬送ルートの清掃を行ってください。</p> <p>警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>
10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> SENSOR ERROR 10 </div>	<p>センサエラーの表示です。</p> <p>原 因：用紙蛇行(用紙位置のセットが正しくありません)</p> <p>対 策：用紙搬送ルートの清掃を行ってください。 (用紙のセット位置を確認してください。) それでもメッセージが表示された場合は、販売店・ディーラー、またはサポートセンターにご連絡ください。</p> <p>警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>
11	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> HEAD ERROR 11 </div>	<p>ヘッドエラーの表示です。</p> <p>原 因：ヘッドに異常があります。</p> <p>対 策：ヘッドの清掃を行い、再確認してください。 それでもメッセージが表示された場合は、販売店・ディーラー、またはサポートセンターにご連絡ください。</p> <p>警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>

エラー 番号	ディスプレイ	説 明
13	CARD R/W ERROR 13	<p>カードリード／ライトエラーの表示です。</p> <p>原 因：①カードが装着されていません。 ②登録されていない番号で呼び出しを行った時。 ③フォーマットされていない時。 ④カードプロテクト状態で登録を行った時。</p> <p>対 策：①カードを確認してください。 ②ホストのプログラムを確認してください。 ③カードのフォーマットを行ってください。 ④カードのプロテクトを外してください。</p> <p>警 告 音：長音1回 外部信号：マシンエラー</p>
14	CARD LOW BATTERY 14	<p>カードローバッテリーの表示です。(起動時と使用時にチェックします。)</p> <p>原 因：①カード内の電池が消耗している時。</p> <p>対 策：①カード内の電池をすみやかに交換してください。 (カード内のデータが消去されるケースがあるので、カードのフォーマットと登録を行ってください。)</p> <p>警 告 音：長音1回 外部信号：マシンエラー</p>
15	CUTTER ERROR 15	<p>カッターエラーの表示です。</p> <p>原 因：①カッター部で用紙ジャムが発生した場合。 ②カッター部のスリットが正しく動作しない。</p> <p>対 策：①カッター部の清掃をしてください。 ②販売店・ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。</p> <p>警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>
16	DOWNLOAD ERROR 16 R/W ERROR	<p>プログラム／フォントダウンロードエラーの表示です。 [FEED]キーを押すとダウンロード待ち画面に戻ります。</p> <p>※下段表示エラー、“R/W”(16)、“NOTAREA”(17)。</p> <p>原 因：①ダウンロード中にリード／ライトエラーが発生した。 ②ダウンロード領域が無い</p>
17	DOWNLOAD ERROR 17 NOTAREA ERROR	<p>対 策：①ダウンロードファイルを確認してください。 ②ダウンロードファイルサイズを確認してください。 ③プリンタ内部の登録エリアを確認してください。</p> <p>警 告 音：短音3回</p>
18	CARD COPY/FORMAT 18 R/W ERROR	<p>カードコピー／フォーマットエラーの表示です。 [FEED]キーを押すと元の選択画面に戻ります。</p> <p>下段表示エラー、“R/W”(18)、“NOTCARD”(19)、“NOTAREA”(20)。</p>
19	CARD COPY/FORMAT 19 NOTCARD ERROR	<p>原 因：①コピー中にリード／ライトエラーが発生した。 ②カードが装着されていない。 ③コピー領域が無い。</p>
20	CARD COPY/FORMAT 20 NOTAREA ERROR	<p>対 策：①コピーファイルを確認してください。 ②カードを装着してください。 ③コピー領域(サイズ)してください。</p> <p>警 告 音：短音3回</p>
21	KANJI ROM ERROR 21	<p>漢字ROMエラーの表示です。</p> <p>原 因：漢字ROMのアクセスエラー。</p> <p>対 策：販売店・ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。</p> <p>警 告 音：短音3回</p>

▲あれ？メッセージが無いのにON LINEが…

エラーメッセージが無いのにON LINEが点滅する場合があります。
これはエラーではなく、プリンタの現在の状態を知らせるメッセージです。

○ON LINEが緑で点滅



メッセージの意味

要因 : 受信データを多く受信したため、受信バッファが残り少なくなっています。
対応方法 : このまま使用しても構いません。
プリンタの内部処理が進み、受信データが少なくなると自動的に消えます。

▲あれ？メッセージがないのにR I B B O Nが…

エラーメッセージがないのにR I B B O Nが点滅する場合があります。
これはエラーではなく、プリンタの現在の状態を知らせるメッセージです。

○R I B B O Nが赤で点滅

メッセージの意味

要因 : リボンが残り少なくなっています。
対応方法 : このまま使用し続けても構いません。
印字途中でリボンエンドが出て困る場合はリボンを交換してください。

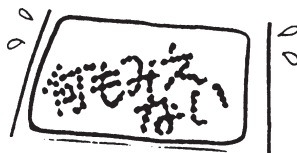
▲あれ？メッセージが無いのにブザー音が…

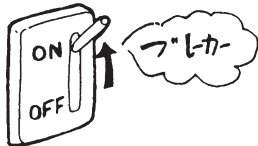
コマンド記述の誤り又は印字領域指定が誤っています。
対応方法 : プログラムを見直してください。

▲こんなときは？

本機の手続きをしてもうまくいかなかったときは、つぎのことを確認してみてください。

電源を入れてもディスプレイに何も表示されない



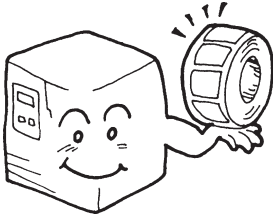


	【確認してください】	【直しかた】
1	電源コンセントに、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、コンセントにしっかりと差し込み直します。
2	本機に、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、本体の電源コネクタにしっかりと差し込み直します。
3	電源コードがいたんでいませんか？	電源コードを取り替えてください。 新しい電源コードは、本機を購入された販売店・ディーラーで必ず本機専用の電源コードをお求めください。本機専用の電源コード以外は絶対に使用しないでください。
4	本体のヒューズが切れていませんか？	本体背面にあるヒューズを確認してください。 ヒューズが切れていたら、市販の同等のヒューズと交換してください。交換後、再度切れた場合は、販売店・ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
5	本機の電源を取っている電源コンセントに電気がきていますか？	電源コンセントのもと電源を調べてください。 もと電源に問題がないときは、建物全体に電気がきているか調べてください。停電の可能性も調べてください。 
6	建物の電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか？	建物の電源ヒューズを取り替え、ブレーカーを電源オンの位置に直してください。

注意

- 濡れた手で電源スイッチの操作やヒューズの交換、電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。
- ヒューズを交換するときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

紙送りはするけど印字されない

	【確認してください】	【直し方】
1	<p>サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？</p>	<p>サーマルヘッドが汚れていたら、添付のプリンタクリーニングセットで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。</p> <p>* 金属物での除去は避けてください(サーマルヘッドを傷つける恐れがあります)。</p> <p>このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、添付のプリンタクリーニングセットでふき取ってください。</p> <p>「毎日のお手入れ」を参照してください。 →59ページ</p> 
2	<p>本機専用の純正用紙・カーボンリボンを使っていますか？</p> 	<p>本機専用の純正用紙・カーボンリボンを必ず使ってください。</p> 
3	<p>用紙センサが汚れていませんか？</p>	<p>用紙センサが汚れていたら、添付のプリンタクリーニングセットで汚れをふき取ってください。</p> <p>「毎日のお手入れ」を参照してください。 →59ページ</p>
4	<p>コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか。</p>	<p>電源を入れ直してください。</p> <p>それでもメッセージが表示されたら、コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。</p>

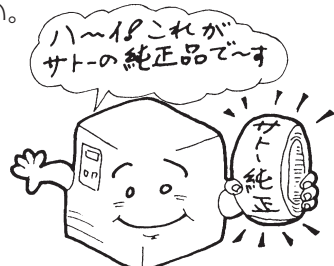
注意

清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

きれいに印字しない




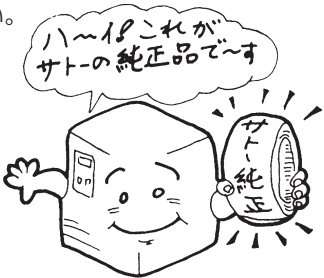
	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンがきちんと固定されているか調べてください。また、サーマルヘッド部を持ち上げて、用紙が正常な位置にとまっているか調べてください。
2	印字濃度が薄すぎたり、濃すぎたりしていませんか？	設定操作で印字濃度を設定し直してください。
3	プラテンローラが汚れていませんか？	プラテンローラが汚れていたら、添付のプリンタクリーニングセットで汚れをふき取ってください。
4	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたら、添付のプリンタクリーニングセットで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。 * 金属物での除去は避けてください(サーマルヘッドを傷つける恐れがあります)。 このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、添付のプリンタクリーニングセットでふき取ってください。 「毎日のお手入れ」を参照してください。 →59ページ
5	汚れた用紙を使っていませんか？	きれいな用紙を使ってください。
6	本機専用の純正用紙・カーボンリボンを使っていますか？	本機専用の純正用紙・カーボンリボンを必ず使ってください。



注意

清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

印字位置がずれる

	【確認してください】	【直し方】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンをきちんと固定してください。 また、サーマルヘッド部を持ち上げて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にとまるようにセットし直してください。
2	プラテンローラが汚れていませんか？	プラテンローラが汚れていたら、添付のプリンタクリーニングセットで汚れをふき取ってください。
3	型くずれした用紙・カーボンリボンを使っていませんか？	用紙・カーボンリボンの周囲が型くずれしていると紙送りが正常にできません。新しい型くずれしていない用紙・カーボンリボンを使ってください。
4	本機専用の純正用紙・カーボンリボンを使っていますか？ 	本機専用の純正用紙・カーボンリボンを必ず使ってください。 
5	用紙センサが汚れていませんか？	用紙センサが汚れていたら、添付のプリンタクリーニングセットで汚れをふき取ってください。 「毎日のお手入れ」を参照してください。 →59ページ
6	コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？	電源を入れ直してください。 それでもメッセージが表示されたら、コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。
7	ピッチ補正(ボリューム)または、基点補正(ユーザーモード設定)の内容がおかしくありませんか？	ピッチ補正(ボリューム)または、基点補正(ユーザーモード設定)の内容を設定し直してください。

注意

清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

オプションについて

本プリンタではお客様のニーズにお答えできるように、つぎのオプションを用意しております。

オプションの種類

▲メモ리카ード

印字フォーマットやグラフィックデータなどを記憶させることができます。

メモ리카ードは、1M、2M、4MバイトTYPE I、II (JEIDA Ver4.2/PCMCIA Ver2.1仕様準拠) SRAMカードを用意しております。

取り付け方

1. プリンタ背面のスロットカバーをマイナスドライバを使用して外してください。
2. メモ리카ードをカードスロットに差し込んでください。
メモ리카ードをカードスロットに差し込まずにコマンドを送るとエラーが発生します。
詳しくは、「あれ? どうしたのかな?」を参照してください。→49ページ
3. スロットの下にありますイジェクトボタンが少し飛び出てくるのを確認してください。

取り外し方

1. スロットの下にあるイジェクトボタンを押します。
2. メモ리카ードが少し飛び出ますので、メモ리카ードを引き抜いてください。

★ご注意

1. メモ리카ード取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体の電源を切ってから行ってください。メモ리카ードやカード基板、プリンタ本体を破損する恐れがあります。
2. メモ리카ードには、TYPE I、II JEIDA Ver4.2/PCMCIA Ver2.1電池内蔵タイプをご使用ください。
3. スロットにカードが挿入されていないときは、異物混入防止のためスロットカバーを取り付けてください。
4. スロットカバーと取り付けネジは、無くさないように保管してください。

▲漢字アウトラインフォントカード

漢字を拡大してギザギザが出ない、漢字フォントデータが記憶されております。

取り付け、取り外しはメモ리카ードの取り付け、取り外しを参照してください。

▲ インタフェースボード

プリンタとコンピュータとのデータをやり取りするためのボードです。

- パラレルインタフェースボード(IEEE1284)
(オプション)
- RS-232Cインタフェースボード
(オプション)
- USBインタフェースボード
(オプション)
- LAN2インタフェースボード
(オプション)
- 無線LAN2インタフェースボード
(オプション)



取付ネジ
インタフェースボード

※ご不明な点がございましたら、購入された販売店・ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。



注意

インタフェースボードの取り付け取り外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行ってください。

インタフェースボードやプリンタ本体を破損する恐れがあります。

▲ ハクリタイプ(工場オプション)

プリンタにラベルと台紙をはがす、ハクリユニットを付けたタイプです。

▲ カッタタイプ(工場オプション)

プリンタに用紙を1枚1枚カットする、カッタユニットを取り付けたタイプです。

毎日のお手入れ

本機は大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。各部が汚れていると大切なバーコードや文字もきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。定期的に清掃してください。

▲お手入れの時期

お手入れの時期の目安はつぎの通りです。

プリンタクリーニングセットでのお手入れ

- ・サーマルヘッド・プラテンローラ、用紙センサ、ラベルガイド
用紙1巻おき、あるいは用紙150メートル印字ごと
- ・その他

用紙6巻おき、あるいは用紙900メートル印字ごと

ラッピングシートでのお手入れ

- ・用紙6巻おき、あるいは用紙900メートル印字ごと

▲お手入れのときの注意



お手入れのとき、つぎのことにご注意ください。

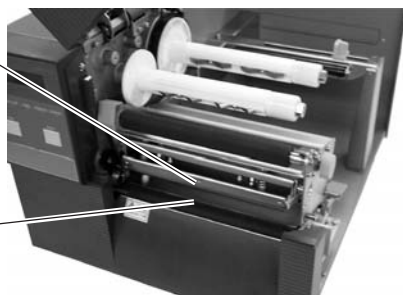
- ・上の清掃時期は目安ですので、汚れの程度によって都合の良い時期に清掃してください。
- ・各部の清掃には、綿棒や綿布をご使用ください。
- ・ドライバなどの堅いものを使用して清掃すると、各部を傷つける恐れがあります。特に、サーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- ・電源は必ず切ってからおこなってください。

▲お手入れのしかた

添付の清掃用具を使って、下記の部分を清掃してください。

サーマルヘッド部

サーマル
ヘッド

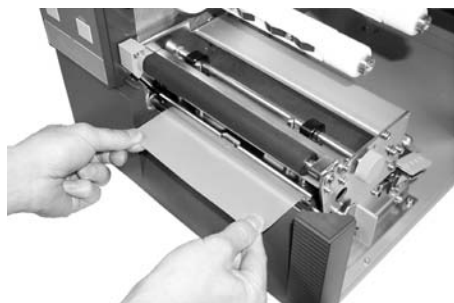


プラテン
ローラ

スライドガイド



ラッピングシート



プリンタクリーニングセット



ラッピングシートの使い方は、ラッピングシートに添付の「サーマルヘッド付着カス除去について」をご覧ください。

基本仕様

	MR600e	MR610e
印字方式	熱転写または感熱方式	
ヘッド密度	8ドット/mm	12ドット/mm
印字有効範囲	幅152mm×ピッチ236mm(DSW2-80N) 幅152mm×ピッチ400mm(DSW2-80FF)	幅165mm×ピッチ178mm(DSW2-80N) 幅165mm×ピッチ400mm(DSW2-80FF)
印字速度	最大8インチ/S(約200mm/S) 但し、印字レイアウト、用紙、カーボンリボンの種類によっては規制する場合があります。	
用紙	当社製 指定用紙を必ずお使いください。	
紙厚	0.1mm～0.18mm	
形状の種類	ロール紙・ファンフォールド紙	
ラベルサイズ (台紙及び厚紙サイズ)	標準 幅 : 47～177mm(50～180mm) ピッチ : 16～397mm(19～400mm) カット 幅 : 47～177mm(50～180mm) ピッチ : 32～397mm(35～400mm) ハクリ 幅 : 47～177mm(50～180mm) ピッチ : 22～397mm(25～400mm) ティアオフ : 発行枚数や用紙のサイズ、種類により規制する場合があります。 但し、使用条件によってサイズを規制する場合があります。	
収容枚数 ロール紙 ファンフォールド紙	最大外形 8インチ(150m/巻)裏巻き 3インチ紙管使用 最大高さ 110mm 本体外部より供給	
カーボンリボン 幅 長さ 基材の厚さ 色 巻き方向	当社製指定カーボンリボンを必ず使用してください。 59、76、84、102、111、128、145、165、177mm カーボンリボン幅は、ご使用になる用紙より広い幅をご使用してください。 300m/巻 4.5μm 黒(標準) その他、赤、青、紫、緑 裏巻き	
ラベル発行	連続、ティアオフ、ハクリ、カット	
外部インタフェース	インタフェースボード ○パラレル (IEEE1284) ○RS-232C ・ READY/BUSY ・ XON/XOFF ・ ステータス3 ・ ドライバ専用プロトコル ○USB ○LAN2 (10BASE-T/100BASE-TX自動切替え) ○無線LAN2 (LAN : 10BASE-T/100BASE-TX自動切替え 無線LAN : IEEE802.11b/g) EXTコネクタ	
寸法	W352×D429×H298(標準)	
重量	19kg(標準)	
電源 入力電圧 消費電力	電圧 AC 100V±10% 最大 190VA 130W (待機時 24VA 16W) , 印字率 30%	

	MR600e	MR610e
環境条件	動作周囲温度 5～40℃ 湿度 30～80% 但し、結露無きこと 保存周囲温度 -5～60℃ 湿度 30～90% 但し、結露無きこと 用紙、カーボンリボンは除く	
操作パネル スイッチ LCD LED	LINEキー FEEDキー 16桁×2行 英数(バックライト付き) POWER、LABEL、RIBBON、ERROR、ONLINE	
調整用ボリューム	PRINT : 印字濃度調整 OFFSET : カッタ、ハクリ、ティアオフ停止位置調整 PITCH : 印字位置調整 DISPLAY : ディスプレイ表示濃度調整	
センサ	用紙センサ反射型・透過型	
印字フォーマット	ホスト(コンピュータ)より転送(フォーマット登録機能あり)	
収容文字種 標準	X20 5×9ドット(英数・記号・カナ) X21 17×17ドット(英数・記号・カナ) X22 24×24ドット(英数・記号・カナ) X23 48×48ドット(英数・記号・カナ) X24 48×48ドット(英数・記号・カナ)	
	OCR A 15×22ドット(英数・記号) OCR B 20×24ドット(英数・記号)	OCR A 22×33ドット(英数・記号) OCR B 30×36ドット(英数・記号)
	アウトラインフォント(英数・記号・カナ)	
	漢字 16×16ドット 第1、第2水準 明朝体又はゴシック体のいずれか選択 24×24ドット 第1、第2水準 明朝体又はゴシック体のいずれか選択 漢字アウトラインフォント(カード対応)	
オプション		
バーコード 1次元コード	UPC-A/E、EAN8/13、JAN8/13、NW-7、 INTERLEAVED 2 of 5 (ITF)、INDUSTRIAL 2 of 5 MATRIX 2 of 5、CODE39、CODE93、CODE128、 UCC/EAN128、カスタマバーコード、RSS-14	
2次元コード	QRコードモデル2、マイクロQR (Ver8.1) PDF417 (Ver2.4 マイクロPDFを含む) MAXIコード (Ver3.0) データマトリックスECC200 (Ver2.0) 合成シンボル (UPC-A/E、EAN8/13、JAN8/13、CODE39、 CODE128、RSS-14によるCC-A/B/C対応)	
倍率	縦1～12倍、横1～12倍 (文字) 1～12L(バーコード)	
回転	文字:0°、90°、180°、270° バーコード:シリアル1、シリアル2、パラレル1、パラレル2	
バーコード比率	1:2、2:5、1:3、任意指定	
ユーザーモード	1. 印字濃度レンジ 2. 印字濃度 3. 印字速度 4. 基点補正 5. ゼロスラッシュ切替え 6. JIS漢字コード切替え 7. 漢字フォント書体 8. プロポーショナルピッチ 9. ヘッドチェック範囲	
自己診断機能	ヘッドチェック/ヘッドオープン/リボンエンド/EEP ROMチェック ペーパーエンド/テスト印字	
ノイズ規格 放射ノイズ	VCCI クラスB	
オプション	メモリカード、漢字アウトラインフォントカード インタフェースボード (RS-232C、IEEE1284、USB、LAN2 (10BASE-T/ 100BASE-TX)、無線LAN2 (LAN:10BASE-T/100BASE-TX、無線LAN: IEEE802.11b/g))	
工場オプション	ハクリタイプ、カッタタイプ	

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サービス業務を行っております。

保守サービス業務について、ご説明します。

サービスの種類一覧表

	交換部品	技術料	出向費
保証期間内サービス	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サービス	契約料金に含まれます	契約料金に含まれます	契約料金に含まれます
スポットサービス	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後より5年間とさせていただきます。

(機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ<http://www.sato.co.jp>でご確認ください。)

保守サービスの内容一覧表

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修復にあたります。
持ち込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合は用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサポートセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修復にあたります。運送費はお客様負担となります。

保守サービスの説明

保証期間の保守サービス

製品は1台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入日より6カ月間を保証期間として無償修理を行っております。

機種により保証条件が異なることがありますので、くわしくは保証書をご覧ください。

保守契約サービス

保証期間が過ぎましても、安心してご使用いただくために「保守契約サービス」があります。

フルメンテナンスサービス

1.目的

お客様とサトーが保守契約し、契約期間中の正常なご使用のもとでの修理は、この契約に基づき実施いたします。技術料、および修理に使用した交換部品は、保守契約により充当されます。したがって、お客様にとりましては1年間一定の保守料で安心してご使用いただくことができます。

2.保守契約料

保守契約料は、機器ごとにご使用状況別に年間の契約料をお見積りいたします。

保守契約サービスの期間

フルメンテナンスサービスは1ヵ年単位で契約し、解約のお申し出がない限り、4年間まで継続して契約することができます。4年をこえる保守契約サービスについては、別基準にしたがい個々にお見積りいたします。

保守契約の対象地域について

保守契約の対象地域に、サトー本社、支店、営業所、サポートセンターの所在地より半径80km以内といたします。対象地域外の場合は、遠隔地料を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。なお離島の場合は、交通費を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。

スポットサービス

保守契約を申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサービスを実施いたします。故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理に時間がかかる場合がございますが、ご了承ください。スポットサービスを実施した場合、サービス料金表に基づき、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いいただきますよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続が不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合は、機械又はカード等に登録された各種データ・ソフト(フォーマット・プリセットデータ・印字ソフト等々)は、修復作業時に壊れる場合があります。(登録された各種データ・ソフトの保証は出来ません)

特に預かり・持込み保守におきましては、お客様で予め別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

